

7. 環境影響評価の項目

7.1 会場等ごと

環境影響評価の項目は、図 7.1-1 に示す手順に従い、会場事業計画の内容をもとに環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況及び社会経済情勢等を勘案して選定した。

なお、環境影響評価の項目等については、環境影響評価書案作成時の適切な時期に、その時点の事業計画内容、設備計画、及び施工計画等に基づき、再検討を行う。

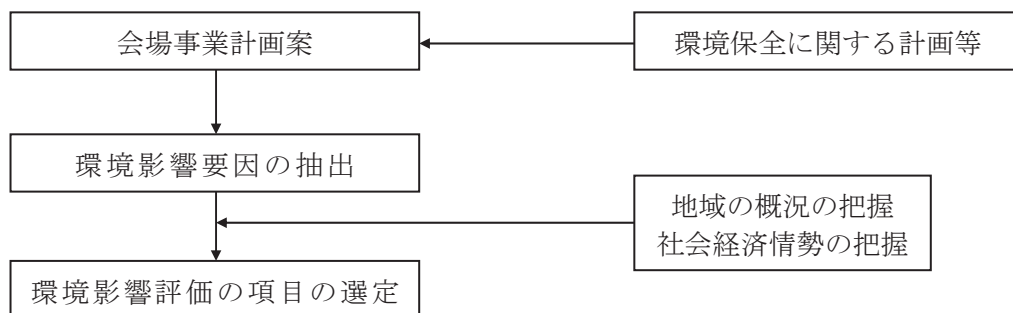


図 7.1-1 環境影響評価の項目の選定手順

また、会場等の建設区分（新設や仮設等）や施工箇所により環境影響評価の項目が異なると考えられることから、表 7.1-1 に示すとおり建設区分及び施工箇所により会場等の分類を行い、各分類群毎に標準的な環境影響評価項目を選定し、その上で個別の会場等の特性を踏まえて環境影響評価項目を選定した。

新設・陸域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-2 及び表 7.1-3 に、新設・陸域及び海域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-4 及び表 7.1-5 に、既存・陸域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-6 及び表 7.1-7 に、既存（改修あり）・陸域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-8 及び表 7.1-9 に、仮設・陸域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-10 及び表 7.1-11 に、仮設・陸域及び海域施工の標準的な環境影響評価項目及び予測事項と各会場等との関係は表 7.1-12 及び表 7.1-13 に、それぞれ示すとおりである。

表 7.1-1 建設区分と施工箇所による会場等の分類

No.	施設名称	建設区分	施工箇所
1	オリンピックスタジアム	新設	陸域
2	東京体育館	既存	陸域
3	国立代々木競技場	既存	陸域
4	日本武道館	既存(改修あり)	陸域
5	皇居外苑	仮設	陸域
6	東京国際フォーラム	既存	陸域
7	国技館	既存	陸域
8	有明アリーナ	新設	陸域及び海域
9	有明 BMX コース	仮設	陸域
10	有明ベートンルーム	仮設	陸域
11	有明体操競技場	仮設	陸域
12	有明テニスの森	既存(改修あり)	陸域
13	お台場海浜公園	仮設	陸域及び海域
14	潮風公園	仮設	陸域
15	東京ビックサイト	既存(改修あり)	陸域
16	大井町競馬場	新設	陸域

No.	施設名称	建設区分	施工箇所
17	海の森クロスカントリーコース	仮設	陸域
18	海の森水上競技場	新設	陸域及び海域
19	海の森マウンテンバイクコース	仮設	陸域
20	若洲オリンピックマリーナ	新設	陸域及び海域
21	葛西臨海公園	新設	陸域
22	夢の島ユース・ブレイク	新設	陸域
23	・アリーナ A・B	新設	陸域
24	夢の島公園	新設	陸域
25	夢の島競技場	既存	陸域
26	オリンピック・アクアティクス・センター	新設	陸域
27	ウォーターボートアリーナ	仮設	陸域
28	武蔵野の森総合スポーツ施設	新設	陸域
29	東京スタジアム	既存	陸域
30	武蔵野の森公園	既存	陸域
31	選手村	新設	陸域

表 7.1-2(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	○
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度	○									
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度				○					
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度		○									
		・ 湧水流量の変化の程度											
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度				○						
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○						
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動					○					
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物					○					
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				○						
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度				○						
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○					○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○				○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-2 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○			○
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○									
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度				○						
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及その程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度						○				
	・ 防火性の程度							○					
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○		○
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
交通安全		・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-3(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因	会場等の名称									
					スタジアム	大井ホッケー競技場	葛西臨海公園	夢の島ユース・プラザ・アリーナ	夢の島公園	オリンピックアクアテイクスセンター	総合スポーツ施設	武蔵野の森選手村		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	○	
				開催前	建設機械の稼働	○	○	○	○	○	○	○	○	
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○	
				開催後	工事用車両の走行					○	○		○	
					建設機械の稼働						○	○		○
					設備等の持続的稼働									※
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	開催前	施設の建設	○				○				
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度	開催前	施設の存在	○						○		
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度	開催前	施設の建設									
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
				・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度		開催前	施設の存在			○							
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○		
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	※	
				開催後	工事用車両の走行					○	○		○	
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動 ・ 建設機械等の騒音及び振動	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○	
				開催前	建設機械の稼働	○	○	○	○	○	○	○	※	
				開催後	建設機械の稼働					○	○		○	
				開催中	競技の実施	○	○	○		○				
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物	開催前	施設の存在	○					○	○	※	
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	※	
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度	開催前	施設の存在	○							※	
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	※	
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	※	
			・ 圧迫感の変化の程度	開催前	施設の存在	○							※	
			・ 緑視率の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	※	
			・ 景観阻害要因の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	※	
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
				・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○	○	○	○	○	○
				開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	
				開催後	建設機械の稼働					○	○		○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				開催前	施設の存在	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開催後	工事用車両の走行					○	○		○	○		

※別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。

表 7.1-3(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
	開催後	設備等の持続的稼働	初期段階環境影響評価書で環境影響は軽微と予測されている場合は非選定
・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	開催前	施設の建設	土壌汚染の可能性が想定されない場合は非選定
・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 地下水涵養能の変化の程度	開催前	施設の存在	会場事業計画地が埋立地の場合は非選定
・ 地下水の水位及び流動の変化の程度	開催前	施設の建設	会場事業計画地が埋立地の場合、施設は地上階のみ整備する計画の場合は非選定
・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 生態系の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	開催前	施設の存在	保護・保全地域が存在しない場合は非選定
・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物	開催前	施設の存在	日影が敷地外まで及ばない場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度	開催前	施設の存在	景観形成特別地区が存在しない場合は非選定
・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	
・ 圧迫感の変化の程度	開催前	施設の存在	建築物高さが低く圧迫感を生じない場合は非選定
・ 緑視率の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 景観阻害要因の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	
	開催前	建設機械の稼働	
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催前	施設の存在	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定

表 7.1-3(3) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称									
						オリンピックスタジアム	大井ホッケー競技場	葛西臨海公園	夢の島ユース・プラザ・アリーナ	夢の島公園	オリンピックアクアティクスセンター	武蔵野の森総合スポーツ施設	選手村		
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設	○						○			
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催前	施設の建設	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催後	解体工事					○	○		○		
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	開催前	施設の建設	○	○	○	○	○	○	○	○			
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○	○	○	○	○	○		
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度	開催前	施設が存在	○	○	○		○	○				
			・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設が存在				○			○	○		
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度	開催前	施設が存在	○	○	○		○	○				
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度	開催前	施設が存在	○							○		
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				消防・防災	・ 耐震性の程度 ・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
						開催中	大会の運営		○	○	○	○	○		○
		開催中	大会の運営			○	○	○	○	○	○	○	○		
		交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	○	
					開催後	工事用車両の走行					○	○		○	
	開催後				設備の持続的稼働										
	公共交通へのアクセシビリティ		・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
				開催後	工事用車両の走行					○	○		○		
	交通安全		・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○	○	○	○		
開催中		大会の運営		○	○	○	○	○	○	○	○				
開催後		工事用車両の走行						○	○		○				

表 7.1-3(4) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
- 緑の程度 - 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	
- 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 - 文化財等の周辺の環境の変化の程度 - 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 - 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 - 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設	会場事業計画地が埋立地に立地している場合は非選定
- 水の効率的利用への取組・貢献の程度 - 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
	開催前	施設の建設	
	開催中	大会の運営	
	開催後	解体工事	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
- エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度 - 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催後	設備の持続的稼働	
	開催前	施設の建設	
	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
自然地の改変・転用の有無及びその程度	開催前	施設が存在	自然地に立地しない場合は非選定
未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設が存在	未利用地に立地しない場合は非選定
生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度	開催前	施設が存在	未利用地に立地する場合は非選定
施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度	開催前	施設が存在	会場事業計画地が海上公園又は都市公園に立地している場合は非選定
- 危険物施設等からの安全性の確保の程度 - 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 - 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	
耐震性の程度	開催中	大会の運営	
津波対策の程度	開催中	大会の運営	会場事業計画地が内陸域に立地している場合は非選定
防火性の程度	開催中	大会の運営	
交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
	開催後	設備の持続的稼働	駐車場の計画がない場合、発生集中交通が想定されない場合は非選定
会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定

表 7.1-4(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	○
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度	○			○						
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度	○									
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
			・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度				○						
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度	○									
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	○			○						
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○							○	
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							○
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度				○						
			・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				○						
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度				○						
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						○
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○					○	

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-4(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後							
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設 の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○						
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○		
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○			○		
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○												
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○		
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○		
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度				○								
			・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○								
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○								
				移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度				○						
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度												
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度												
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度												
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度												
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減												
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○						
				衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度								○				
			・ 津波対策の程度								○				
	・ 防火性の程度						○								
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	○		
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○				
	経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度												
		雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
事業採算性		・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度													

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-5(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因	会場等の名称				
					有明アリーナ	海の森水上競技場	若洲オリンピックマリーナ		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	
			開催前	建設機械の稼働	○		○		
			開催中	大会の運営	○	○	○		
			開催後	工事用車両の走行		○			
			開催後	建設機械の稼働					
			開催後	設備の持続的稼働					
		水質等	・ 水質等の変化の程度	開催前	施設の建設	○	○	○	
			開催前	施設の存在		○	○		
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	開催前	施設の建設		○		
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度	開催前	施設の存在			
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度		開催前	施設の建設				
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	○	○	○	
				開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	○	○	○	
				開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	○	○	○	
				開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	開催前	施設の建設				
				開催前	施設の存在				
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
		生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
					開催後	工事用車両の走行		○	
				・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動 ・ 建設機械等の騒音及び振動	開催中	大会の運営	○	○	○
					開催前	建設機械の稼働	○		○
					開催後	建設機械の稼働			
	・ 競技実施に伴う騒音及び振動		開催中	競技の実施			○		
	日影		・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物	開催前	施設の存在				
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度	開催前	施設の存在	○			
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 圧迫感の変化の程度	開催前	施設の存在				
			・ 緑視率の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	
			・ 景観阻害要因の変化の程度	開催前	施設の存在	○	○	○	

表 7.1-5(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	初期段階環境影響評価書で環境影響は軽微と予測されている場合は非選定
	開催後	設備の持続的稼働	熱源施設の設置が想定されない場合は非選定
・ 水質等の変化の程度	開催前	施設の建設	
	開催前	施設の存在	
・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	開催前	施設の建設	土壌汚染の可能性が想定されない場合は非選定
・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 地下水涵養能の変化の程度	開催前	施設の存在	会場事業計画地が埋立地の場合は非選定
・ 地下水の水位及び流動の変化の程度	開催前	施設の建設	会場事業計画地が埋立地の場合、施設は地上階のみ整備する計画の場合は非選定
・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
	開催前	施設の存在	
・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
	開催前	施設の存在	
・ 生態系の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
	開催前	施設の存在	
・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	開催前	施設の建設	保護・保全地域が存在しない場合は非選定
	開催前	施設の存在	保護・保全地域が存在しない場合、流況変化がない場合は非選定
・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物	開催前	施設の存在	日影が敷地外まで及ばない場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度	開催前	施設の存在	景観形成特別地区が存在しない場合は非選定
・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	
・ 圧迫感の変化の程度	開催前	施設の存在	建築物高さが低く圧迫感を生じない場合は非選定
・ 緑視率の変化の程度	開催前	施設の存在	
・ 景観阻害要因の変化の程度	開催前	施設の存在	

表 7.1-5(3) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称		
						有明アリーナ	海の森水上競技場	若洲オリンピックマリーナ
環境項目	アメニティ・文化	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	○	○	○
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催前	施設の存在	○	○	○
				開催後	建設機械の稼働		○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催前	施設の存在	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行		○	
		歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設			
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催前	施設の建設	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	解体工事		○	
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	開催後	設備の持続的稼働	○	○	○
				開催前	施設の建設	○	○	○
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	設備の持続的稼働	○	○	○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度	開催前	施設の存在			○
			・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の存在	○	○	
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度	開催前	施設の存在			○
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度	開催前	施設の存在	○		
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
			・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度					
			・ 電力供給の安定度					
		消防・防災	・ 耐震性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
			・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
			・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○

表 7.1-5(4) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度	開催前	施設の存在	
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催前	施設の存在	
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催前	施設の存在	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	
・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設	会場事業計画地が埋立地に立地している場合は非選定
・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催前	施設の建設	
	開催中	大会の運営	
	開催後	解体工事	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
	開催後	設備の持続的稼働	
・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	開催前	施設の建設	
・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
	開催後	設備の持続的稼働	
・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度	開催前	施設の存在	自然地に立地しない場合は非選定
・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の存在	未利用地に立地しない場合は非選定
・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度	開催前	施設の存在	未利用地に立地する場合は非選定
・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度	開催前	施設の存在	会場事業計画地が海上公園又は都市公園に立地している場合は非選定
・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	
・ 耐震性の程度	開催中	大会の運営	
・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	会場事業計画地が内陸域に立地している場合は非選定
・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	

表 7.1-5(5) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称		
						有明アリーナ	海の森水上競技場	若洲オリンピックマリーナ
社会経済項目	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行		○	
				開催後	設備の持続的稼働			
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行		○	
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○	
			開催中	大会の運営	○	○	○	
			開催後	工事用車両の走行		○		

表 7.1-5(6) 予測事項と会場等との関連（建設区分：新設、施工箇所：海域に隣接）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	設備の持続的稼働	初期段階環境影響評価書で環境影響は軽微と予測されている場合は非選定
・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定

表 7.1-6(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：既存、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設 の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○							○	
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動				○						○
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○				
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○							○
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○							○	

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-6 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：既存、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○	○			
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○		
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○		
	経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度										
		雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
		事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-7(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目		予測事項	環境影響要因	会場等の名称						
				東京体育館	国立代々木競技場	東京国際フォーラム	国技館	夢の島競技場	東京スタジアム	武蔵野の森公園
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行					○
				開催前	建設機械の稼働					○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行					○
				開催後	建設機械の稼働					○
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行					○
				開催後	工事用車両の走行					○
		・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動		開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催前	建設機械の稼働					○
		・ 建設機械等の騒音及び振動		開催後	建設機械の稼働					○
				開催中	競技の実施					○
	アメニティ・文化	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働					○
				開催後	建設機械の稼働					○
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		開催前	工事用車両の走行	○	○	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行					○
		歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
社会経済項目	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催後	解体工事					○
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
		消防・防災	・ 耐震性の程度 ・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催中	大会の運営					○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○				○
				開催後	工事用車両の走行					○
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度	開催前	工事用車両の走行					○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行					○
	交通安全	交通安全	・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行					○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行					○

表 7.1-7(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	競技を屋内建屋内で実施する場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 緑の程度	開催中	大会の運営	
・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度			
・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度			
・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等			
・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			
・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	
・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度	開催中	大会の運営	
・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度			
・ 電力供給の安定度			
・ 耐震性の程度			
・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	会場事業計画地が内陸域に立地している場合は非選定
・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	
・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定

表 7.1-8(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：既存(改修あり)、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○		
			・ アスリートへの影響の程度											
		水質等	・ 水質の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度											
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度											
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無											
			・ 汚染土壌の量											
		生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
	水循環		・ 地下水涵養能の変化の程度											
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度											
			・ 湧水流量の変化の程度											
	生物・生態系		・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度											
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度											
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度											
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度											
			・ 生態系の変化の内容及びその程度											
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度											
			・ アスリートへの生物等の影響の程度											
	緑		・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○			
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動					○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○		
			・ 会場設備等からの騒音及び振動											
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○						
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度											
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度											
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度											
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度											
			・ 圧迫感の変化の程度											
			・ 緑視率の変化の程度											
			・ 景観阻害要因の変化の程度											
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度											
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○						○		
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○						○			

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-8(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：既存(改修あり)、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○						○	○		
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	耐震性の程度						○				
			津波対策の程度						○				
	交通	交通安全	・ 防火性の程度						○				
交通渋滞		・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○		
公共交通へのアクセシビリティ		・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度		○				○		○			
経済	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-9(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存（改修あり）、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称		
						日本武道館	有明テニスの森	東京ビッグサイト
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催前	建設機械の稼働	○	○	
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○
				開催後	建設機械の稼働			
	緑		・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の使用	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	施設の使用			
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	施設の使用			
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催前	建設機械の稼働	○	○	
				開催後	建設機械の稼働			
	生活環境	騒音・振動	・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	○	○	
				開催後	建設機械の稼働			
				開催中	競技の実施		○	
	アメニティ・文化	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催後	建設機械の稼働			○
				開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○
				開催中	大会の運営	○	○	○
	アメニティ・文化	史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設	○		
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	施設の建設			
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	施設の建設			
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
				開催前	施設の建設	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	解体工事			○
				開催前	施設の建設	○	○	○
	ス 温室効果ガス	エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催前	建設機械の稼働	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	施設の建設			

表 7.1-9(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存（改修あり）、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度	開催前	施設の使用	
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	競技を屋内建屋内で実施する場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	
・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	開催前	施設の建設	会場事業計画地が埋立地の場合は非選定
・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	
・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催前	施設の建設	
	開催中	大会の運営	
	開催後	解体工事	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	開催前	施設の建設	
・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	
・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催前	建設機械の稼働	
	開催中	大会の運営	

表 7.1-9(3) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存（改修あり）、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称		
						日本武道館	有明テニスの森	東京ビッグサイト
社会経済項目	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	○	○	○
		消防・防災	・ 耐震性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
			・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営		○	○
			・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○

表 7.1-9(4) 予測事項と会場等との関連（建設区分：既存（改修あり）、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	
・ 耐震性の程度	開催中	大会の運営	
・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	会場事業計画地が内陸域に立地している場合は非選定
・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	
・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定
・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000m ² 未満の場合は非選定

表 7.1-10(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：仮設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○							○	
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○						○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○						○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-10(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：仮設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後						
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設 の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○	○				
	エコマテリアル	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
		温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
			エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
移転			・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度											
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○		
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○			
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
経済		経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度											
		雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-11(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：仮設、施工箇所：陸域）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因	会場等の名称								
					皇居外苑	有明B M X コース	有明ベ ロド ルーム	有明体 操競 技場	潮風公園	海の森 クロ スカ ントリー	海の森 マウ ンテ ンバ イク コース	ウオー ター ボロ アリー ナ	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
				開催前	建設機械の稼働			○	○				○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	
				開催後	工事用車両の走行			○	○				○
				開催後	建設機械の稼働			○	○				○
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
				開催後	工事用車両の走行			○	○				○
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
				・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働			○	○			
			開催後		建設機械の稼働			○	○				○
			開催中	競技の実施		○			○				
	アメニティ・文化	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働			○	○				○
				開催後	建設機械の稼働			○	○				○
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
				開催後	工事用車両の走行			○	○				○
		歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
				開催後	解体工事			○	○				○
温室効果ガス		・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○	
エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○		
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の使用	○	○	○	○	○	○	○	○
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
		消防・防災	・ 耐震性の程度 ・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
				開催中	大会の運営		○	○	○	○	○	○	○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
				開催後	工事用車両の走行			○	○				○
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
				開催中	大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○
				開催後	工事用車両の走行			○	○				○
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行			○	○				○
開催中				大会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○	
開催後	工事用車両の走行					○	○				○		

表 7.1-11(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：仮設、施工箇所：陸域）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000m2 未満の場合は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	競技を屋内建屋内で実施する場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 緑の程度	開催中	大会の運営	
・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度			
・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度			
・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等			
・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			
・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	
・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度	開催中	大会の運営	
・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度			
・ 電力供給の安定度			
・ 耐震性の程度			
・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	会場事業計画地が内陸域に立地している場合は非選定
・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	
・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定

表 7.1-12(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：仮設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度	○									
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○									
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○									
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○									
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	○									
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○						○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○						○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-12(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（建設区分：仮設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業計画地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○	○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度												
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○					
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度						○					
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度											
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度											
		社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
	文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及その程度												
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度							○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度							○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度							○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○		
公共交通へのアクセシビリティ		・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度		○					○		○			
交通安全		・ 交通安全の変化の程度		○					○		○			
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及その程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注) 網掛けは、2020年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-13(1) 予測事項と会場等との関連（建設区分：仮設、施工箇所：海域に隣接）

環境影響評価の項目			予測事項	環境影響要因		会場等の名称
						お台場海浜公園
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
				開催前	建設機械の稼働	
				開催中	大会の運営	○
				開催後	工事用車両の走行	
				開催後	建設機械の稼働	
		水質等	・ 水質の変化の程度	開催前	施設の建設	○
	生物・生態系	生物・生態系	・ 水生生物相の変化の内容及びその程度 ・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・ 生態系の変化の内容及びその程度 ・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	開催前	施設の建設	○
				開催前	施設の建設	○
				開催前	施設の建設	○
				開催前	施設の建設	
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動 ・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動 ・ 建設機械等の騒音及び振動 ・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	
				開催後	工事用車両の走行	
				開催中	大会の運営	○
				開催前	建設機械の稼働	
				開催後	建設機械の稼働	
	アメニティ・文化	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 ・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	建設機械の稼働	
				開催後	建設機械の稼働	
				開催前	工事用車両の走行	
				開催後	工事用車両の走行	
	資源・廃棄物	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度	開催中	大会の運営	○
		水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催中 開催後	大会の運営 解体工事	○
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	○
	社会経済項目	土地利用・心安全・衛生・安	土地利用	・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の存在
安全			・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度	開催中	大会の運営	○
				開催中	大会の運営	○
				開催中	大会の運営	○
消防・防災		・ 耐震性の程度 ・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	○	
			開催中	大会の運営	○	
			開催中	大会の運営	○	
		交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行
開催後					工事用車両の走行	
公共交通へのアクセシビリティ			・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	
				開催中 開催後	大会の運営 工事用車両の走行	○
交通安全		・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行		
	開催中 開催後		大会の運営 工事用車両の走行	○		

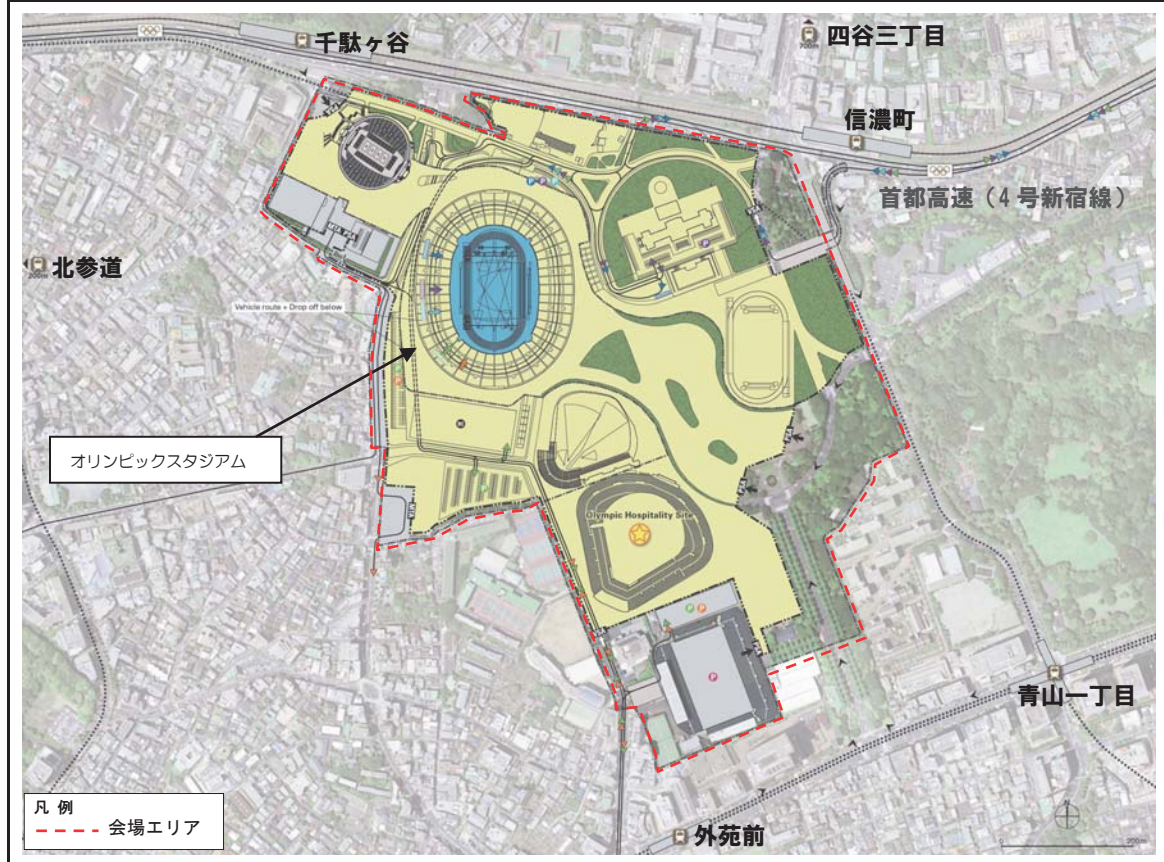
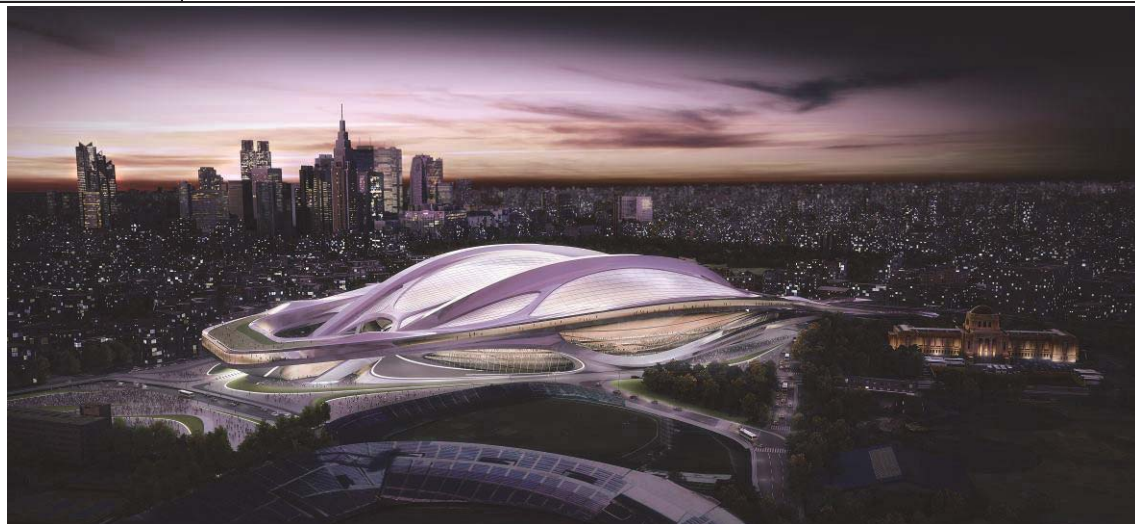
表 7.1-13(2) 予測事項と会場等との関連（建設区分：仮設、施工箇所：海域に隣接）

予測事項	環境影響要因		予測事項を選定しない場合の理由
・ 大気等の状況の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 水質の変化の程度	開催前	施設の建設	
・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
・ 生態系の変化の内容及びその程度	開催前	施設の建設	
・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	開催前	施設の建設	保護・保全地域が存在しない場合は非選定
・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動	開催中	大会の運営	
・ 建設機械等の騒音及び振動	開催前	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	周辺に住居等が存在しない場合、仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 競技実施に伴う騒音及び振動	開催中	競技の実施	競技を屋内建屋内で実施する場合、周辺に住居等が存在しない場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	開催前	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	建設機械の稼働	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 緑の程度	開催中	大会の運営	
・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度			
・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度	開催中	大会の運営	
・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	開催中	大会の運営	
	開催後	解体工事	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	
・ エネルギーの使用量及びその削減の程度	開催中	大会の運営	
・ 未利用地の解消の有無及びその程度	開催前	施設の存在	
・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度	開催中	大会の運営	
・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度			
・ 電力供給の安定度			
・ 耐震性の程度	開催中	大会の運営	
・ 津波対策の程度	開催中	大会の運営	
・ 防火性の程度	開催中	大会の運営	
・ 交通量及び交通流の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
・ 交通安全の変化の程度	開催前	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定
	開催中	大会の運営	
	開催後	工事用車両の走行	仮設施設の規模が延床面積 10,000㎡未満の場合は非選定

(1) オリンピックスタジアム

選定した項目は表 7.1-14 に、選定した理由は表 7.1-15 に、選定しなかった理由は表 7.1-16 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	(計画中)	階数	地上 8 階
総座席数(席)	80,000	駐車場台数(台)	760
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：2,800		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-2 施設の諸元 (オリンピックスタジアム)

表 7.1-14(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（オリンピックスタジアム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	○									
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度				○						
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物				○						
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				○						
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度				○						
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○						

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-14(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（オリンピックスタジアム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○								
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○				○				○
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○								
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○		○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○		○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○					
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○					
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度				○					
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○			○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○			○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-15(1) 選定した項目及びその理由（オリンピックスタジアム）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないという予測されているため、予測事項としない。
土壌	土壌に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「土壌汚染物質の変化の程度」、「地下水及び大気への影響の可能性の有無」、「汚染土壌の量」とする。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在、が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
水循環	水循環に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「地下水涵養能の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の建設に伴う「地下水の水位及び流動の変化の程度」は施設は地上階のみ整備する計画としているため、予測事項としない。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、予測事項としない。
日 影	日影が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物」とする。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「圧迫感の変化の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-15(2) 選定した項目及びその理由（オリンピックスタジアム）

項 目	選定した理由
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
史跡・文化財	史跡・文化財に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度」、「文化財等の周辺の環境の変化の程度」、「埋蔵文化財包蔵地の改変の程度」、「会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度」、「文化財等の回復の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m ² であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
移転	移転が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。

表 7.1-15(3) 選定した項目及びその理由（オリンピックスタジアム）

項 目	選定した理由
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 2,800m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-16 選定しなかった項目及びその理由（オリンピックスタジアム）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(2) 東京体育館

選定した項目は表 7.1-17 に、選定した理由は表 7.1-18 に、選定しなかった理由は表 7.1-19 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	RC 造・SRC 造・S 造	階数	地上 3 階、地下 2 階
総座席数(席)	8,000	駐車場台数(台)	180
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：1,000		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-3 施設の諸元 (東京体育館)

表 7.1-17(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京体育館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度										

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-17(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京体育館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項		開催前			開催中		開催後			
					施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等							○			
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度							○			
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度								○		
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度							○			
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度								○		
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度									○	
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
公共交通へのアクセシビリティ		・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度								○			
交通安全		・ 交通安全の変化の程度									○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-18 選定した項目及びその理由（東京体育館）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前の工事用車両の走行及び建設機械の稼働、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋で実施するため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催前及び開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催前及び開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に位置しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は、仮設施設の規模が延床面積 1,000m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-19 選定しなかった項目及びその理由（東京体育館）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m ² であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技が屋内建屋内で実施するため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,000m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(3) 国立代々木競技場

選定した項目は表 7.1-20 に、選定した理由は表 7.1-21 に、選定しなかった理由は表 7.1-22 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	RC 造・SRC 造	階数	地上 2 階、地下 2 階
総座席数(席)	12,000	駐車場台数(台)	180
仮施設設(m ²)	プレハブ以外 : 2,800 プレハブ : 3,800		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-4 施設の諸元 (国立代々木競技場)

表 7.1-20(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（国立代々木競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
		・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度													
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-20(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（国立代々木競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の使用	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○				
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度									
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度					○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度					○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-21 選定した項目及びその理由（国立代々木競技場）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前の工事用車両の走行及び建設機械の稼働、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技が屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-22 選定しなかった項目及びその理由（国立代々木競技場）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は、仮設施設の規模が延床面積 6,600m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,600m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(4) 日本武道館

選定した項目は表 7.1-23 に、選定した理由は表 7.1-24 に、選定しなかった理由は表 7.1-25 に示すとおりである。



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-5 施設の諸元（日本武道館）

表 7.1-23(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（日本武道館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
			・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○							
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○								

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-23(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（日本武道館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○								
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○				
	経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度										
		雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
		事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-24(1) 選定した項目及びその理由（日本武道館）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
史跡・文化財	史跡・文化財に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度」、「文化財等の周辺の環境の変化の程度」、「埋蔵文化財包蔵地の改変の程度」、「会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度」、「文化財等の回復の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。

表 7.1-24(2) 選定した項目及びその理由（日本武道館）

項 目	選定した理由
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 4,600m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-25 選定しなかった項目及びその理由（日本武道館）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(5) 皇居外苑

選定した項目は表 7.1-26 に、選定した理由は表 7.1-27 に、選定しなかった理由は表 7.1-28 に示すとおりである。



図 7.1-6 施設の諸元（皇居外苑）

表 7.1-26(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（皇居外苑）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-26(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（皇居外苑）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-27 選定した項目及びその理由（皇居外苑）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、影響は軽微と考え、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-28 選定しなかった項目及びその理由（皇居外苑）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(6) 東京国際フォーラム

選定した項目は表 7.1-29 に、選定した理由は表 7.1-30 に、選定しなかった理由は表 7.1-31 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	RC 造・S 造	階数	地上 11 階、地下 3 階
総座席数(席)	5,000	駐車場台数(台)	180
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：－		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-7 施設の諸元（東京国際フォーラム）

表 7.1-29(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京国際フォーラム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後							
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○						
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度												
			・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度												
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無												
	・ 汚染土壌の量														
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度												
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度												
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度												
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度												
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度												
			・ 生態系の変化の内容及びその程度												
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
		・ アスリートへの生物等の影響の程度													
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度												
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動												
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動												
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動												
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度														
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物														
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 圧迫感の変化の程度												
			・ 緑視率の変化の程度												
・ 景観阻害要因の変化の程度															
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度													
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度													
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-29 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京国際フォーラム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○				
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度									
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度					○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度					○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-30 選定した項目及びその理由（東京国際フォーラム）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前の工事用車両の走行及び建設機械の稼働、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の計画がないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。

表 7.1-31 選定しなかった項目及びその理由（東京国際フォーラム）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の計画がないため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(7) 国技館

選定した項目は表 7.1-32 に、選定した理由は表 7.1-33 に、選定しなかった理由は表 7.1-34 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	SRC 造	階数	地上 3 階、地下 2 階
総座席数(席)	10,000	駐車場台数(台)	170
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：1,600 プレハブ：2,000		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-8 施設の諸元 (国技館)

表 7.1-32(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（国技館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前				開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度										

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-32(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（国技館）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○				
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度									
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度					○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度					○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-33 選定した項目及びその理由（国技館）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前の工事用車両の走行及び建設機械の稼働、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技の実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-34 選定しなかった項目及びその理由（国技館）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」、仮設施設の規模が延床面積 3,600m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前の及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,600m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(8) 有明アリーナ

選定した項目は表 7.1-35 に、選定した理由は表 7.1-36 に、選定しなかった理由は表 7.1-37 に示すとおりである。



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-9 施設の諸元 (有明アリーナ)

表 7.1-35(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明アリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度	○									
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
		緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○						
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				○						
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○						

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-35(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明アリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○	
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度				○						
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及その程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度						○					
交通		交通安全	・ 防火性の程度						○					
		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○					
経済	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○						
	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-36(1) 選定した項目及びその理由（有明アリーナ）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 700m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないかと予測されているため、予測事項としない。
水質等	水質等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「水質の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「水質等の変化の程度」は一部海域での工事は実施するものの海域に構造物を設置する計画はないため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「水生生物相の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の建設及び施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 700m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 3 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 700m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。

表 7.1-36(2) 選定した項目及びその理由（有明アリーナ）

項 目	選定した理由
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 700m ² であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
移転	移転が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 700m ² であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 700m ² であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 700m ² であるため、予測事項としない。

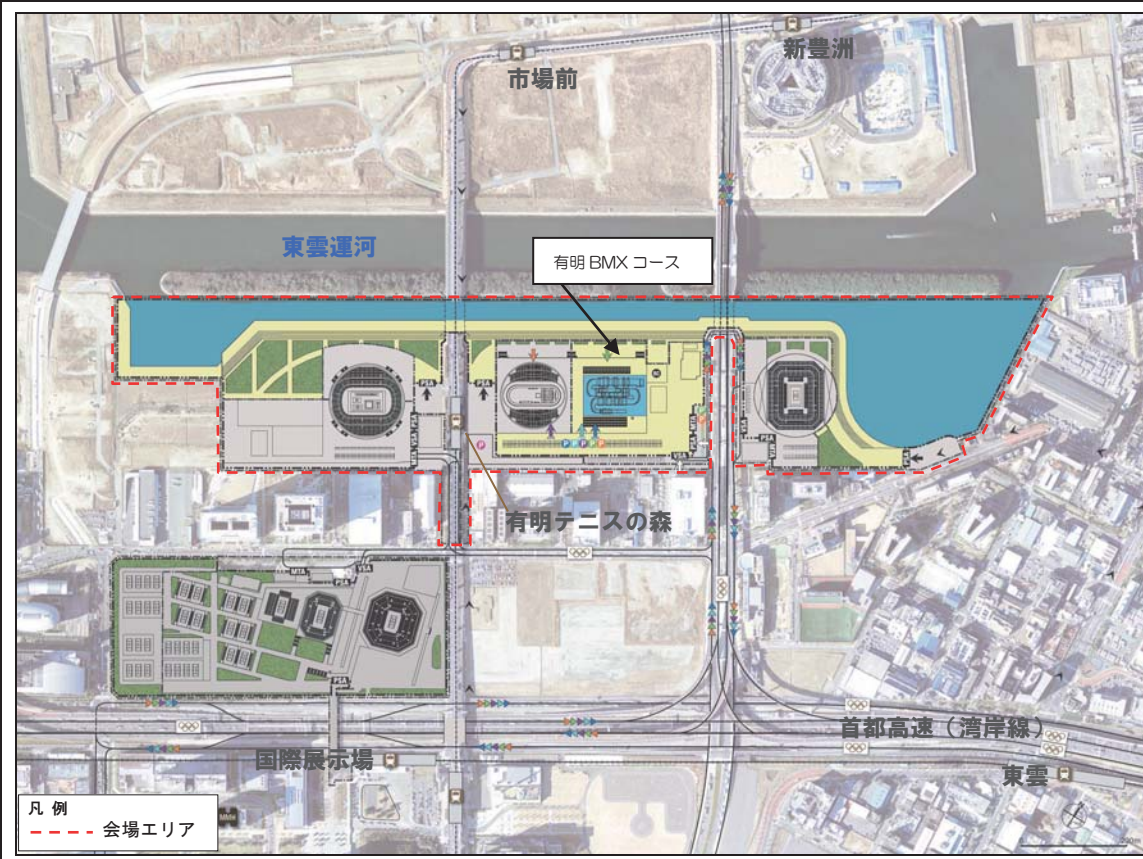
表 7.1-37 選定しなかった項目及びその理由（有明アリーナ）

項 目	選定しなかった理由
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	会場事業計画地の北側に住居等が存在しないため、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	会場事業計画地が未利用地に立地しているため、新たな地域分断は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(9) 有明 BMX コース

選定した項目は表 7.1-38 に、選定した理由は表 7.1-39 に、選定しなかった理由は表 7.1-40 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	5,000	駐車場台数(台)	370
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：7,400 プレハブ：－		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-10 施設の諸元 (有明 BMX コース)

表 7.1-38(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明 BMX コース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度										

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-38(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明 BMX コース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○					
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○					
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度											
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○					
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○					
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-39 選定した項目及びその理由（有明 BMX コース）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。

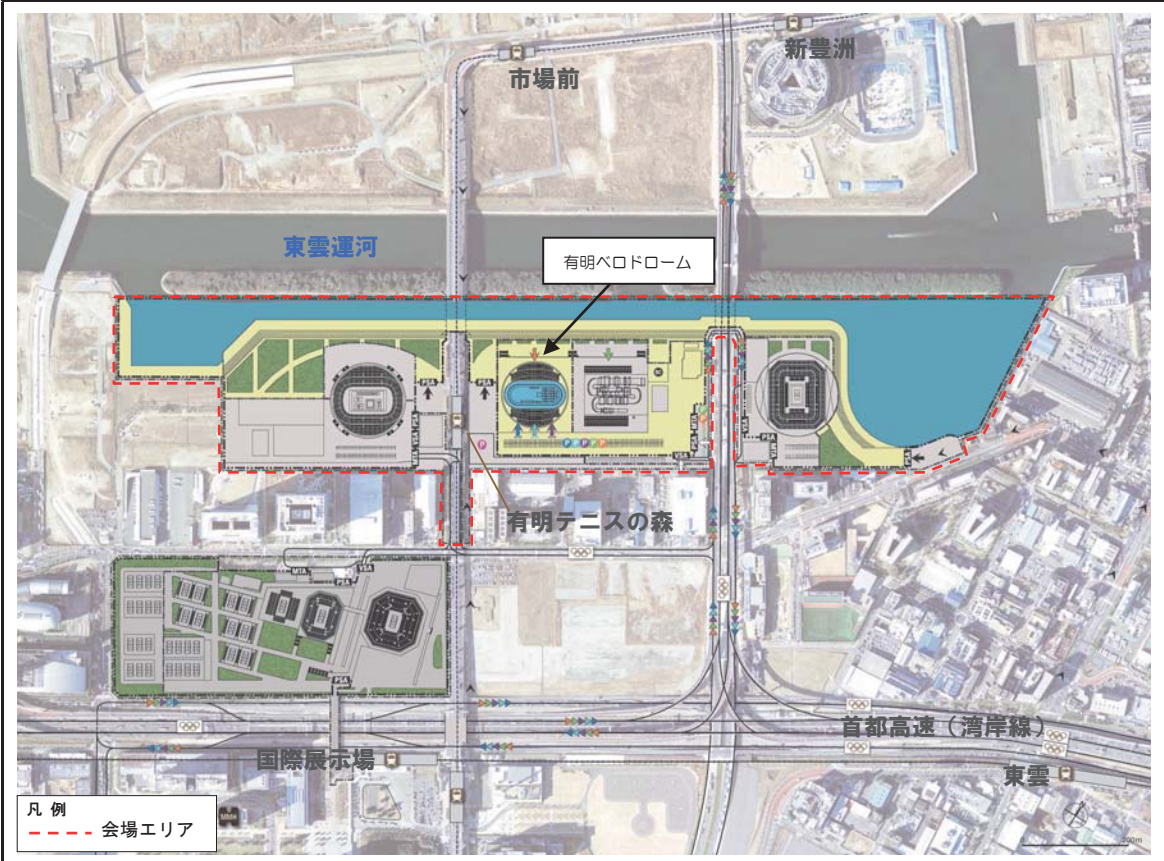
表 7.1-40 選定しなかった項目及びその理由（有明 BMX コース）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(10) 有明ペロドローム

選定した項目は表 7.1-41 に、選定した理由は表 7.1-42 に、選定しなかった理由は表 7.1-43 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	5,000	駐車場台数(台)	370
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：25,000 プレハブ：－		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-11 施設の諸元 (有明ペロドローム)

表 7.1-41(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連 (有明ベロドローム)

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
		・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度					○						○		
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○						○			

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-41 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連 (有明ペロドローム)

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○	○			
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-42 選定した項目及びその理由（有明ペロドローム）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営、開催後における解体工事が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

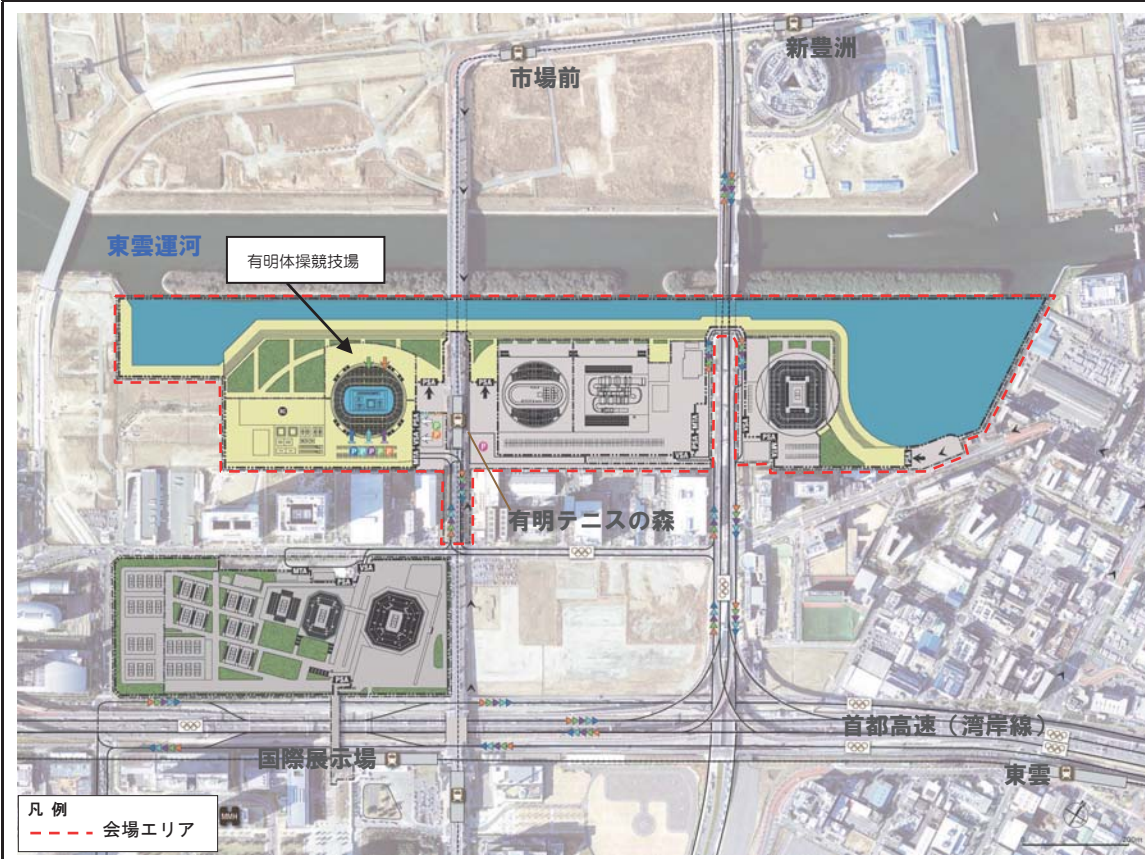
表 7.1-43 選定しなかった項目及びその理由（有明ペロドローム）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(11) 有明体操競技場

選定した項目は表 7.1-44 に、選定した理由は表 7.1-45 に、選定しなかった理由は表 7.1-46 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 3 階
総座席数(席)	12,000	駐車場台数(台)	260
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：29,100 プレハブ：1,600		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-12 施設の諸元（有明体操競技場）

表 7.1-44(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明体操競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
		・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度					○						○		
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○						○			

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-44(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明体操競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○	○			
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○					
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○	
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○	
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-45(1) 選定した項目及びその理由（有明体操競技場）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営、開催後における解体工事が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

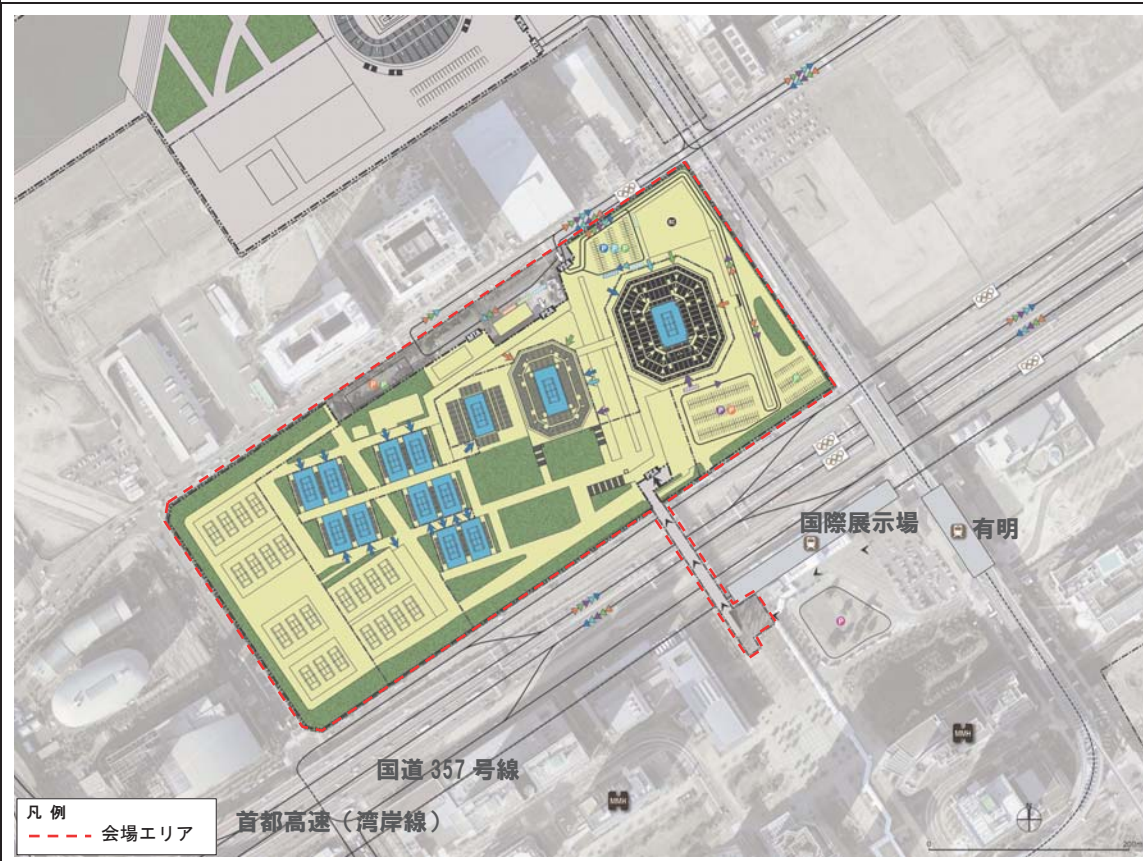
表 7.1-46 選定しなかった項目及びその理由（有明体操競技場）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(12) 有明テニスの森

選定した項目は表 7.1-47 に、選定した理由は表 7.1-48 に、選定しなかった理由は表 7.1-49 に示すとおりである。

建設区分	既存（改修あり）	施工箇所	陸域
建物構造	SRC 造・RC 造	階数	地上 1 階～4 階
総座席数(席)	20,500	駐車場台数(台)	300
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：1,900		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-13 施設の諸元（有明テニスの森）

表 7.1-47(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明テニスの森）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後						
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○						
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度												
			・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度												
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度												
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度												
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度												
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度												
			・ 生態系の変化の内容及びその程度												
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○									
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○									
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○							
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 圧迫感の変化の程度												
・ 緑視率の変化の程度															
・ 景観阻害要因の変化の程度															
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度													
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○										
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○											

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-47(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（有明テニスの森）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○					
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○					
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度						○					
交通			・ 防火性の程度						○					
		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○					
経済		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○					
		経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
		雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
		事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-48(1) 選定した項目及びその理由（有明テニスの森）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-48(2) 選定した項目及びその理由（有明テニスの森）

項 目	選定した理由
公共交通への アクセシビリ ティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,900m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-49 選定しなかった項目及びその理由（有明テニスの森）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(13) お台場海浜公園

選定した項目は表 7.1-50 に、選定した理由は表 7.1-51 に、選定しなかった理由は表 7.1-52 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域及び海域
建物構造	S 造	階数	地上 1 階
総座席数(席)	10,000	駐車場台数(台)	300
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：6,100		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-14 施設の諸元 (お台場海浜公園)

表 7.1-50(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（お台場海浜公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後							
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○						
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度	○											
			・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度												
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度												
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度												
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度												
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○											
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○											
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○											
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度	○											
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度													
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動												
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動												
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動												
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 圧迫感の変化の程度												
			・ 緑視率の変化の程度												
			・ 景観阻害要因の変化の程度												
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度												
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度												

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-50(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（お台場海浜公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○					
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○					
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度											
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○					
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○					
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-51(1) 選定した項目及びその理由（お台場海浜公園）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
水質等	水質等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「水質の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「水生生物相の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」、「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」、仮設施設の規模が延床面積 6,100m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-51(2) 選定した項目及びその理由（お台場海浜公園）

項 目	選定した理由
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-52 選定しなかった項目及びその理由（お台場海浜公園）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,100m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(14) 潮風公園

選定した項目は表 7.1-53 に、選定した理由は表 7.1-54 に、選定しなかった理由は表 7.1-55 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	12,000	駐車場台数(台)	250
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：7,200		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-15 施設の諸元 (潮風公園)

表 7.1-53(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（潮風公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
・ 圧迫感の変化の程度													
・ 緑視率の変化の程度													
・ 景観阻害要因の変化の程度													
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度											

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-53(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（潮風公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-54 選定した項目及びその理由（潮風公園）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、開催前の建設機械及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、影響は軽微と考え、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-55 選定しなかった項目及びその理由（潮風公園）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都令第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(15) 東京ビッグサイト

選定した項目は表 7.1-56 に、選定した理由は表 7.1-57 に、選定しなかった理由は表 7.1-58 に示すとおりである。



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-16 施設の諸元（東京ビッグサイト）

表 7.1-56(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京ビッグサイト）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○				○		○		
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
		・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度					○						○		
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○						○			

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-56(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京ビッグサイト）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○					
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○					
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○		
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○			
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-57 選定した項目及びその理由（東京ビッグサイト）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における解体工事が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

表 7.1-58 選定しなかった項目及びその理由（東京ビッグサイト）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設内を一部改修して利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(16) 大井ホッケー競技場

選定した項目は表 7.1-59 に、選定した理由は表 7.1-60 に、選定しなかった理由は表 7.1-61 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	15,000	駐車場台数(台)	180
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：3,700		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-17 施設の諸元 (大井ホッケー競技場)

表 7.1-59(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（大井ホッケー競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後						
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○						
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度												
			・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度												
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無												
	・ 汚染土壌の量														
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○								
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度											
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○								
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○								
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度					○							
			・ 生態系の変化の内容及びその程度					○							
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○									
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○									
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○						
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度													
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物													
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○								
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					○							
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度					○							
			・ 圧迫感の変化の程度												
			・ 緑視率の変化の程度					○							
			・ 景観阻害要因の変化の程度					○							
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度					○							
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○								
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○		○									

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-59 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（大井ホッケー競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○	
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○					
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○						
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-60(1) 選定した項目及びその理由（大井ホッケー競技場）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないという予測されているため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 2 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。

表 7.1-60(2) 選定した項目及びその理由（大井ホッケー競技場）

項 目	選定した理由
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 3,700m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-61 選定しなかった項目及びその理由（大井ホッケー競技場）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いとため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	初期段階環境影響評価で日影は全て会場エリア内に収まることから、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(17) 海の森クロスカントリーコース

選定した項目は表 7.1-62 に、選定した理由は表 7.1-63 に、選定しなかった理由は表 7.1-64 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	0	駐車場台数(台)	510
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：1,600 プレハブ：7,600		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-18 施設の諸元（海の森クロスカントリーコース）

表 7.1-62(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森クロスカンントリーコース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-62(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森クロスカントリーコース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-63 選定した項目及びその理由（海の森クロスカントリーコース）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m²であるため、予測事項としない。

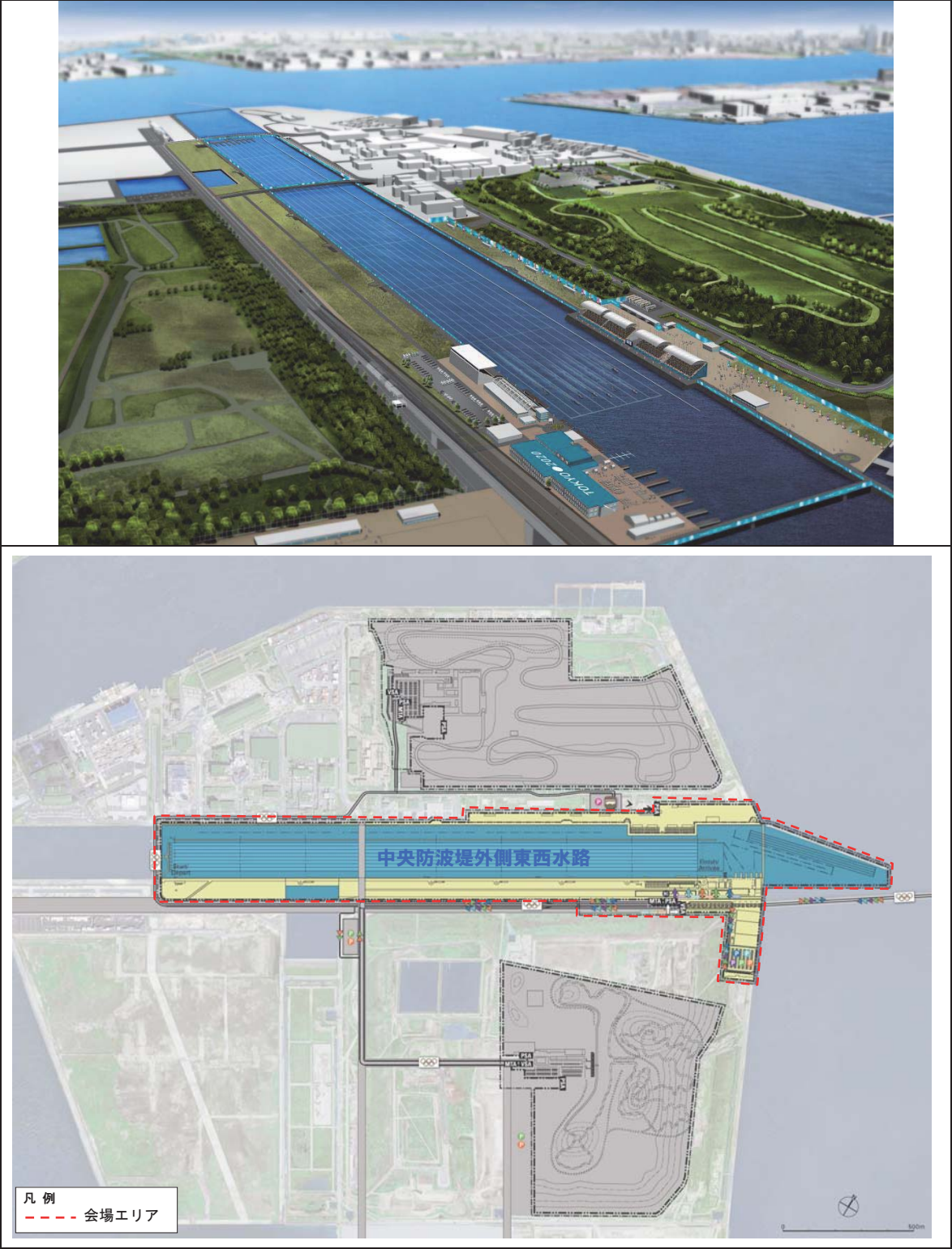
表 7.1-64 選定しなかった項目及びその理由（海の森クロスカントリーコース）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 9,200m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(18) 海の森水上競技場

選定した項目は表 7.1-65 に、選定した理由は表 7.1-66 に、選定しなかった理由は表 7.1-67 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域及び海域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	14,000	駐車場台数(台)	540
仮施設設 (m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：11,800		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-19 施設の諸元（海の森水上競技場）

表 7.1-65(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森水上競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○				○		○		
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度	○			○						
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	○									
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○					○	
	・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度			○		○				○			

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-65(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森水上競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○			○
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-66(1) 選定した項目及びその理由（海の森水上競技場）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」する。 なお、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないと言測されているため、予測事項としない。
水質等	水質等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「水質の変化の程度」とする。
土壌	土壌に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「土壌汚染物質の変化の程度」、「地下水及び大気への影響の可能性の有無」、「汚染土壌の量」とする。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「水生生物相の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の建設及び施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上2階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。

表 7.1-66(2) 選定した項目及びその理由（海の森水上競技場）

項 目	選定した理由
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

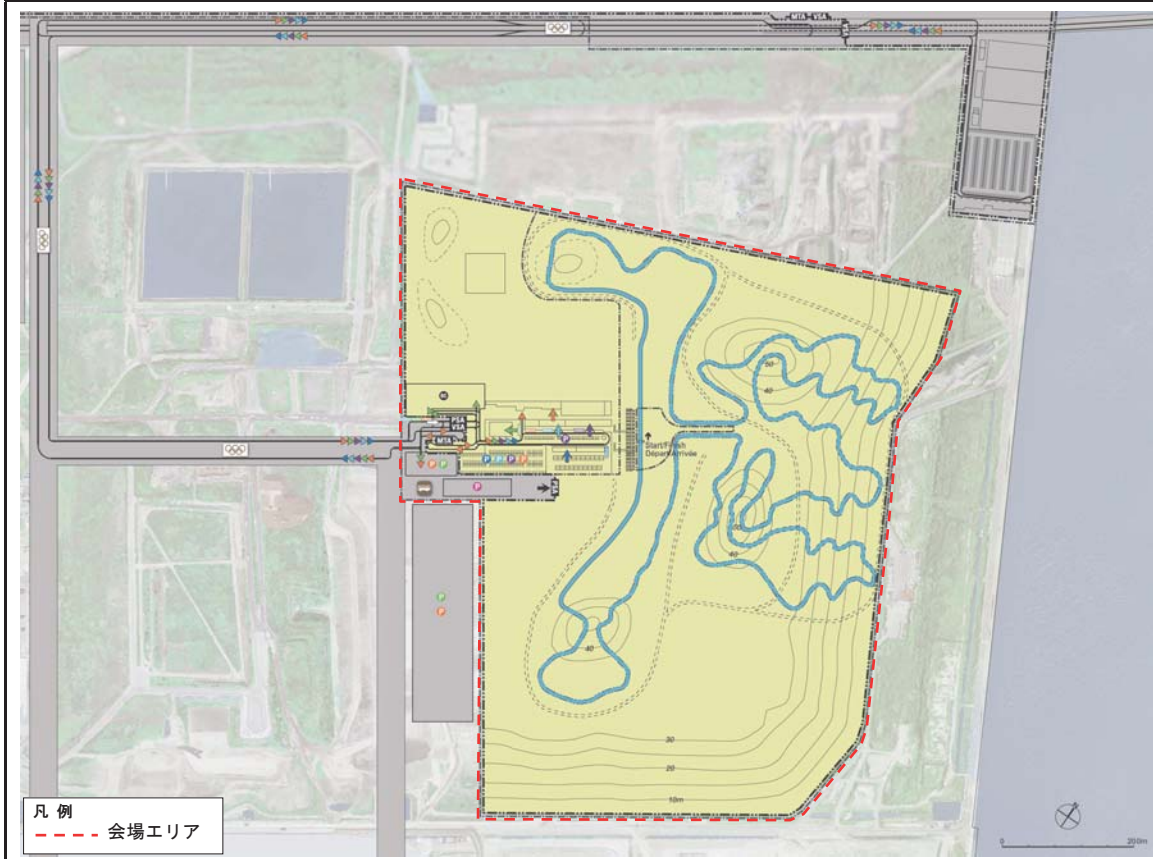
表 7.1-67 選定しなかった項目及びその理由（海の森水上競技場）

項 目	選定しなかった理由
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	会場事業計画地の北側に住居等が存在しないため、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	会場事業計画地が未利用地に立地しているため、新たな地域分断は生じない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(19) 海の森マウンテンバイクコース

選定した項目は表 7.1-68 に、選定した理由は表 7.1-69 に、選定しなかった理由は表 7.1-70 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 1 階
総座席数(席)	2,000	駐車場台数(台)	320
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：7,400		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-20 施設の諸元 (海の森マウンテンバイクコース)

表 7.1-68(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森マウンテンバイクコース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後							
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○						
			・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度												
			・ アスリートへの影響の程度												
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度												
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度												
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
			・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度												
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度												
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度												
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度												
			・ 生態系の変化の内容及びその程度												
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度														
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度													
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動												
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○						
			・ 建設機械等の騒音及び振動												
			・ 会場設備等からの騒音及び振動												
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動												
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 圧迫感の変化の程度												
			・ 緑視率の変化の程度												
			・ 景観阻害要因の変化の程度												
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度												
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度												
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度												

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-68(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（海の森マウンテンバイクコース）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-69 選定した項目及びその理由（海の森マウンテンバイクコース）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は会場事業計画地周辺には住居等が存在しないため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-70 選定しなかった項目及びその理由（海の森マウンテンバイクコース）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,400m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(20) 若洲オリンピックマリーナ

選定した項目は表 7.1-71 に、選定した理由は表 7.1-72 に、選定しなかった理由は表 7.1-73 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域及び海域
建物構造	S 造	階数	地上 1 階
総座席数(席)	2,000	駐車場台数(台)	420
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：7,100		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-21 施設の諸元 (若洲オリンピックマリーナ)

表 7.1-71(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（若洲オリンピックマリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度	○			○						
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度	○			○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
			・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○						

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-71(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（若洲オリンピックマリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○	
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度		○				○					
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○					
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-72(1) 選定した項目及びその理由（若洲オリンピックマリーナ）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないという予測されているため、予測事項としない。
水質等	水質等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、施設が存在が考えられる。 予測事項は、「水質の変化の程度」とする。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設、施設が存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「水生生物相の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の建設及び施設が存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m²であるため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 1 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設が存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。

表 7.1-72(2) 選定した項目及びその理由（若洲オリンピックマリーナ）

項 目	選定した理由
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m ² であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m ² であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m ² であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,100m ² であるため、予測事項としない。

表 7.1-73 選定しなかった項目及びその理由（若洲オリンピックマリーナ）

項 目	選定しなかった理由
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	会場事業計画地の北側に住居等が存在しないため、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(21) 葛西臨海公園

選定した項目は表 7.1-74 に、選定した理由は表 7.1-75 に、選定しなかった理由は表 7.1-76 に示すとおりである。



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-22 施設の諸元（葛西臨海公園）

表 7.1-74(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（葛西臨海公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度									
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度											
		・ 湧水流量の変化の程度											
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度				○						
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					○					
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度					○					
			・ 景観阻害要因の変化の程度					○					
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度				○	○					
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度					○		○						

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-74(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（葛西臨海公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○	
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○					
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○						
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-75(1) 選定した項目及びその理由（葛西臨海公園）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないと予測されているため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」、「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」とする。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」及び「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 1 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-75(2) 選定した項目及びその理由（葛西臨海公園）

項 目	選定した理由
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」、とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 7,200m ² であるため、予測事項としない。

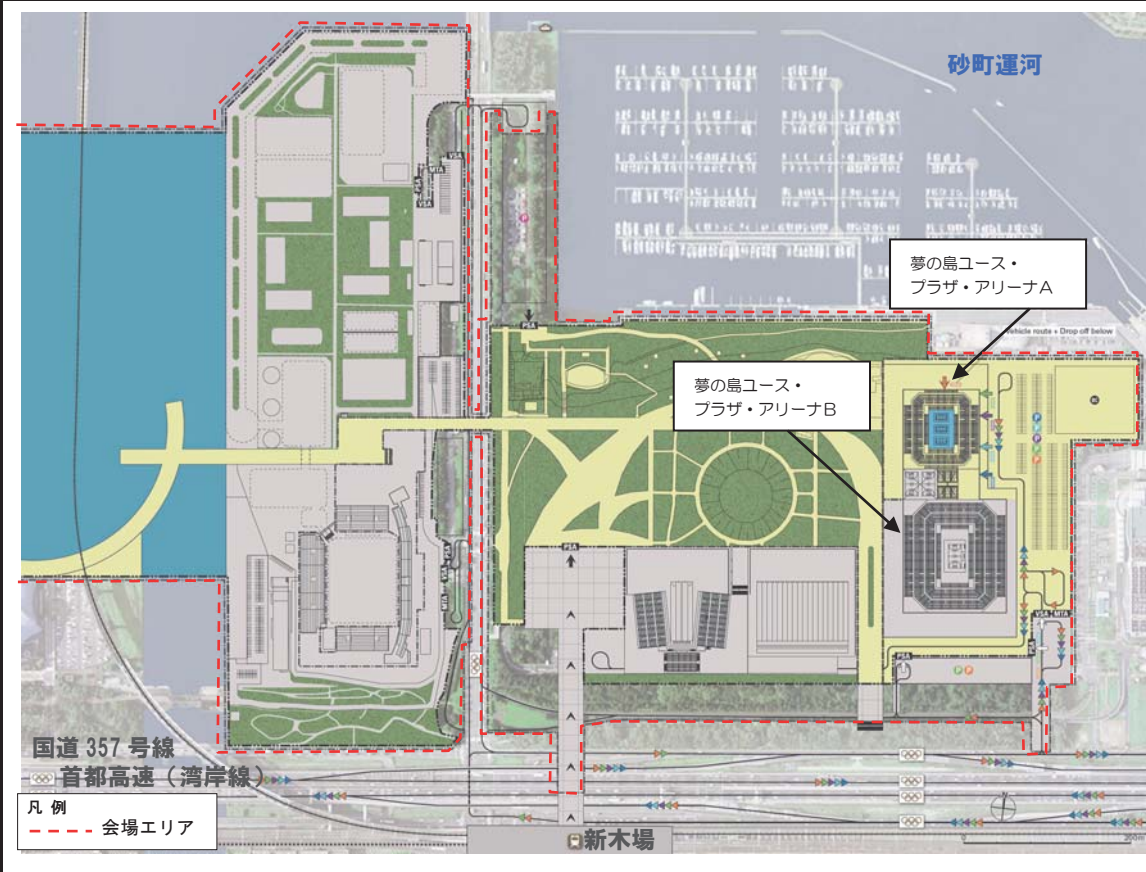
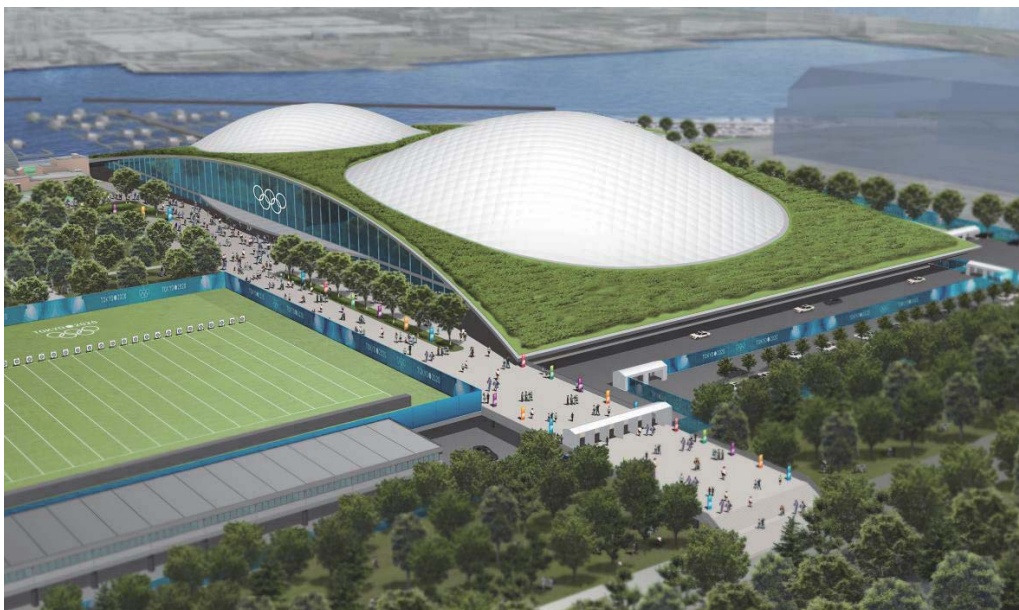
表 7.1-76 選定しなかった項目及びその理由（葛西臨海公園）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いとため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	会場事業計画地の北側に住居等が存在しないため、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(22・23) 夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B

選定した項目は表 7.1-77 に、選定した理由は表 7.1-78 に、選定しなかった理由は表 7.1-79 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	(計画中)	階数	地上 4 階 (一部地下あり)
総座席数(席)	25,000	駐車場台数(台)	430
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：1,500		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-23 施設の諸元 (夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B)

表 7.1-77(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				○						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度				○						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				○						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○		○							

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-77(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の使用	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○				○	
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度											
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度											
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度											
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度											
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減											
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度											
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○					
			・ 津波対策の程度						○					
交通		交通安全	・ 防火性の程度						○					
		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○					
経済	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○						
	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度												
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等												
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度												

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-78(1) 選定した項目及びその理由（夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないという予測されているため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 4 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。

表 7.1-78(2) 選定した項目及びその理由（夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B）

項 目	選定した理由
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,500m²であるため、予測事項としない。

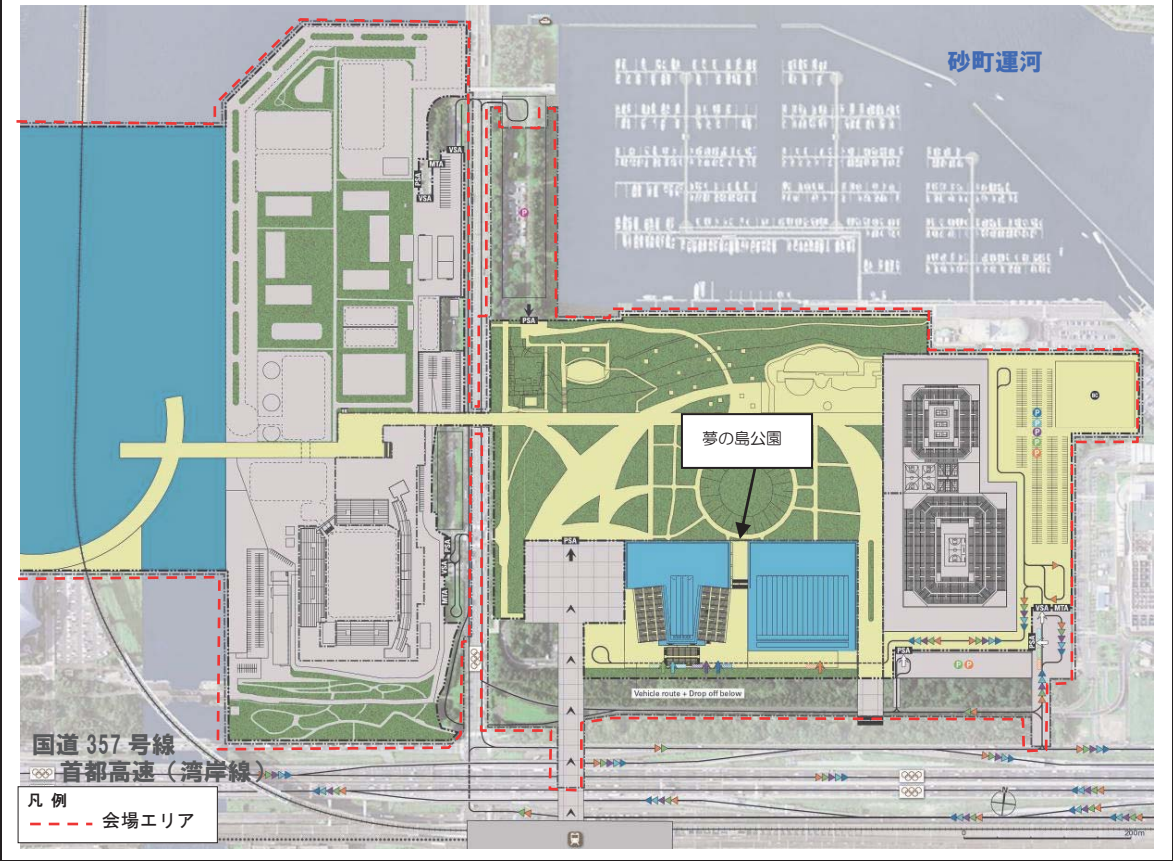
表 7.1-79 選定しなかった項目及びその理由（夢の島ユース・プラザ・アリーナ A・B）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いとため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	初期段階環境影響評価で日影は全て会場エリア内に収まることから、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地しているため、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	会場事業計画地が未利用地に立地しているため、新たな地域分断は生じない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(24) 夢の島公園

選定した項目は表 7.1-80 に、選定した理由は表 7.1-81 に、選定しなかった理由は表 7.1-82 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 4 階
総座席数(席)	7,000	駐車場台数(台)	190
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：14,800		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-24 施設の諸元（夢の島公園）

表 7.1-80(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量	○									
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動					○					
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					○					
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度					○					
			・ 景観阻害要因の変化の程度					○					
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○					○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○				○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-80(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○			○
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	
公共交通へのアクセシビリティ		・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○			
交通安全		・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-81(1) 選定した項目及びその理由（夢の島公園）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないと言われているため、予測事項としない。
土壌	土壌に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「土壌汚染物質の変化の程度」、「地下水及び大気への影響の可能性の有無」、「汚染土壌の量」とする。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における競技の実施、大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上4階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。

表 7.1-81(2) 選定した項目及びその理由（夢の島公園）

項 目	選定した理由
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

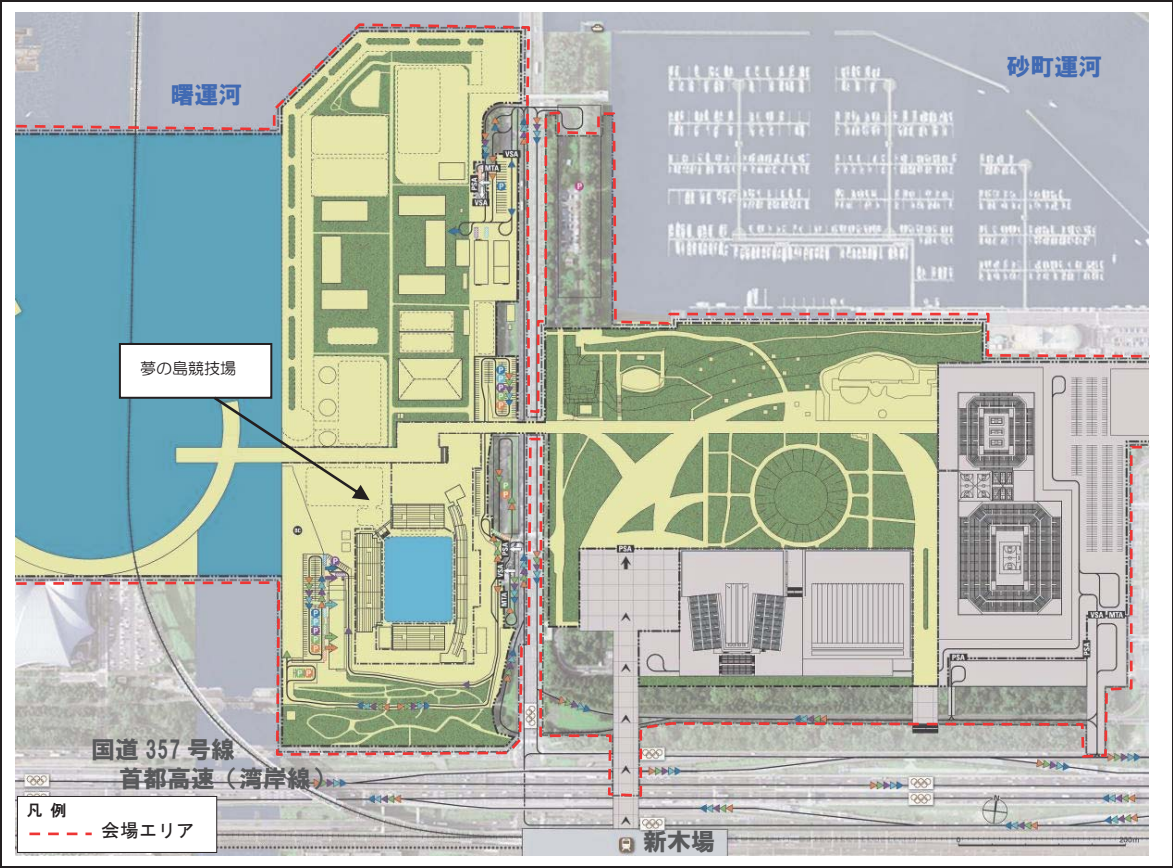
表 7.1-82 選定しなかった項目及びその理由（夢の島公園）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	会場事業計画地の北側に住居等が存在しないため、日影に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地してい非選定、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(25) 夢の島競技場

選定した項目は表 7.1-83 に、選定した理由は表 7.1-84 に、選定しなかった理由は表 7.1-85 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 2 階
総座席数(席)	14,000	駐車場台数(台)	530
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：11,500 プレハブ：11,700		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-25 施設の諸元（夢の島競技場）

表 7.1-83(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物													
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度											
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度											
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度											
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 圧迫感の変化の程度											
		・ 緑視率の変化の程度											
		・ 景観阻害要因の変化の程度											
	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○						○		
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度			○						○				

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-83(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（夢の島競技場）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○	○			
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度						○				
	交通		・ 防火性の程度						○				
		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
経済	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○			
	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-84 選定した項目及びその理由（夢の島競技場）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働、が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の通行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

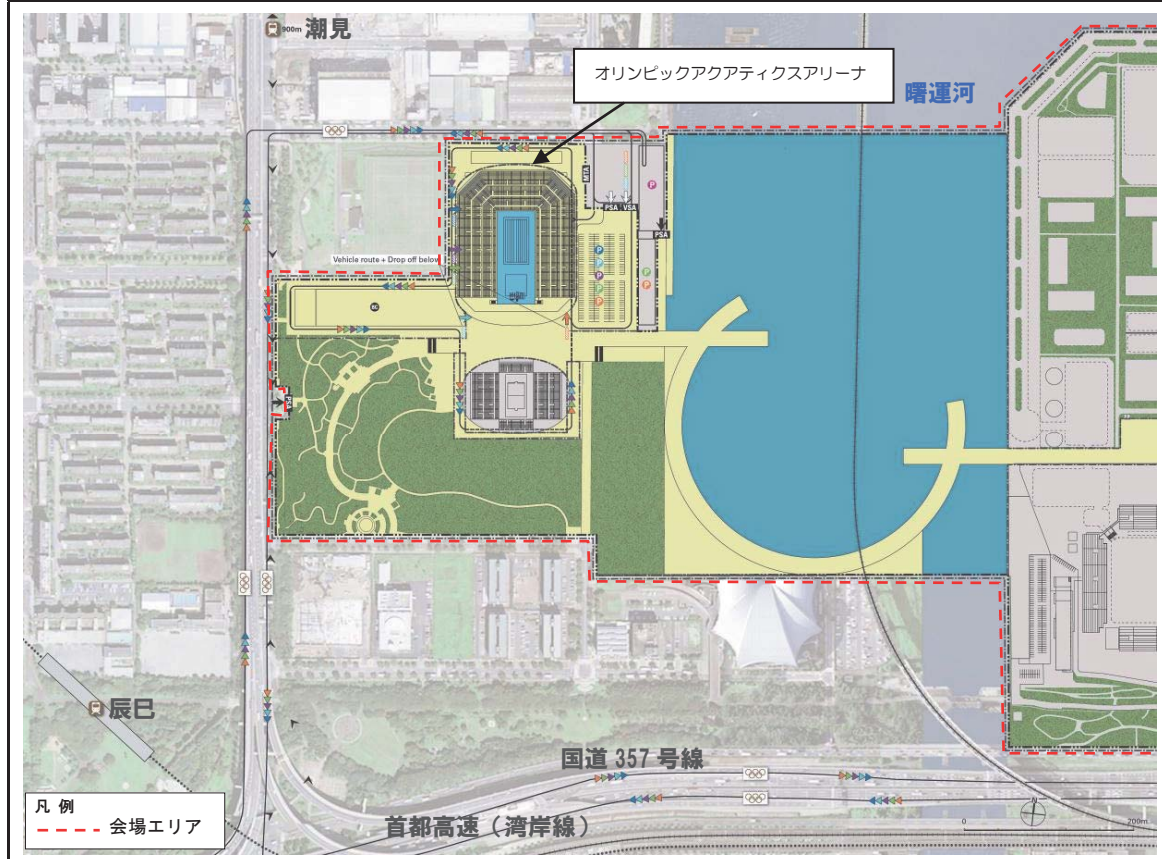
表 7.1-85 選定しなかった項目及びその理由（夢の島競技場）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(26) オリンピックアクアティクスセンター

選定した項目は表 7.1-86 に、選定した理由は表 7.1-87 に、選定しなかった理由は表 7.1-88 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	(計画中)	階数	地上 4 階、地下 1 階
総座席数(席)	26,500	駐車場台数(台)	330
仮施設設(㎡)	プレハブ以外：49,800 プレハブ：4,200		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-26 施設の諸元 (オリンピックアクアティクスセンター)

表 7.1-86(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（オリンピックアクアティクスセンター）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○	
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度					○					
			・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					○					
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度					○					
			・ 景観阻害要因の変化の程度					○					
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○					○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○				○		

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-86(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（オリンピックアクアティクスセンター）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○					○	○			○
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○			○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○			○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○						
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度				○						
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○							○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○		
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○		
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-87(1) 選定した項目及びその理由（オリンピックアクアティクスセンター）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないと言われているため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
日 影	日影が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物」とする。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上 4 階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。

表 7.1-87(2) 選定した項目及びその理由（オリンピックアクアティクスセンター）

項 目	選定した理由
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然地の改変・転用の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「未利用地の解消の有無及びその程度」は未利用地の有効利用はないため、予測事項としない。
地域分断	地域分断に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

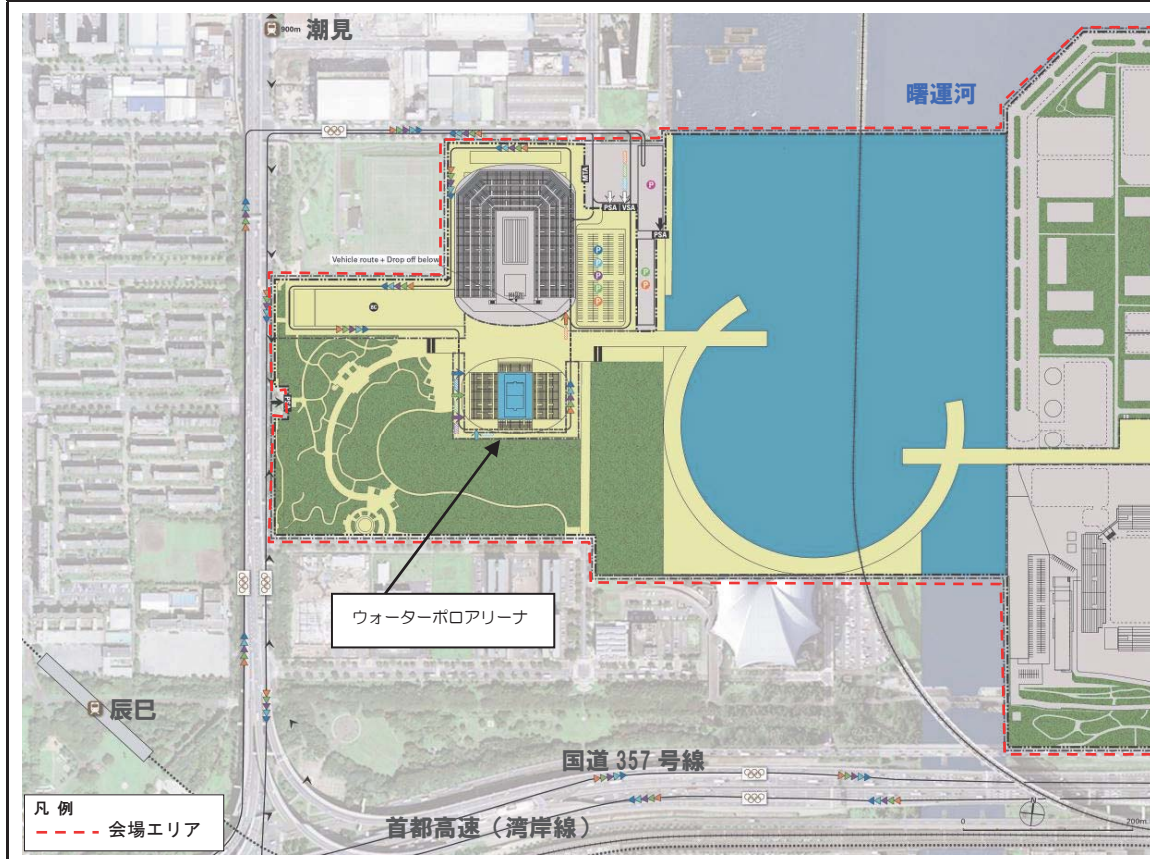
表 7.1-88 選定しなかった項目及びその理由（オリンピックアクアティクスセンター）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いとため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	会場事業計画地が埋立地に立地してい非選定、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
移転	会場事業計画地が海上公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(27) ウォーターポロアリーナ

選定した項目は表 7.1-89 に、選定した理由は表 7.1-90 に、選定しなかった理由は表 7.1-91 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	(計画中)	階数	地上 4 階、地下 1 階
総座席数(席)	26, 500	駐車場台数(台)	330
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：49, 800 プレハブ：4, 200		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-27 施設の諸元 (ウォーターポロアリーナ)

表 7.1-89(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（ウォーターポロアリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○		○	○
			・ アスリートへの影響の程度									
		水質等	・ 水質の変化の程度									
			・ アスリートへの影響の程度									
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度									
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無									
		・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度									
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度									
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度									
			・ 湧水流量の変化の程度									
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度									
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度									
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度									
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度									
			・ 生態系の変化の内容及びその程度									
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度											
	・ アスリートへの生物等の影響の程度											
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○						○	
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動					○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○						○
			・ 会場設備等からの騒音及び振動									
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動									
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度									
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度									
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度									
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度									
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度									
			・ 圧迫感の変化の程度									
			・ 緑視率の変化の程度									
			・ 景観阻害要因の変化の程度									
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度									
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度					○						○	
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○						○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-89(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（ウォーターポロアリーナ）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○	○			
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○					
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○	
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○				○		○	
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○				○		○	
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-90 選定した項目及びその理由（ウォーターポロアリーナ）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営、開催後における解体工事が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

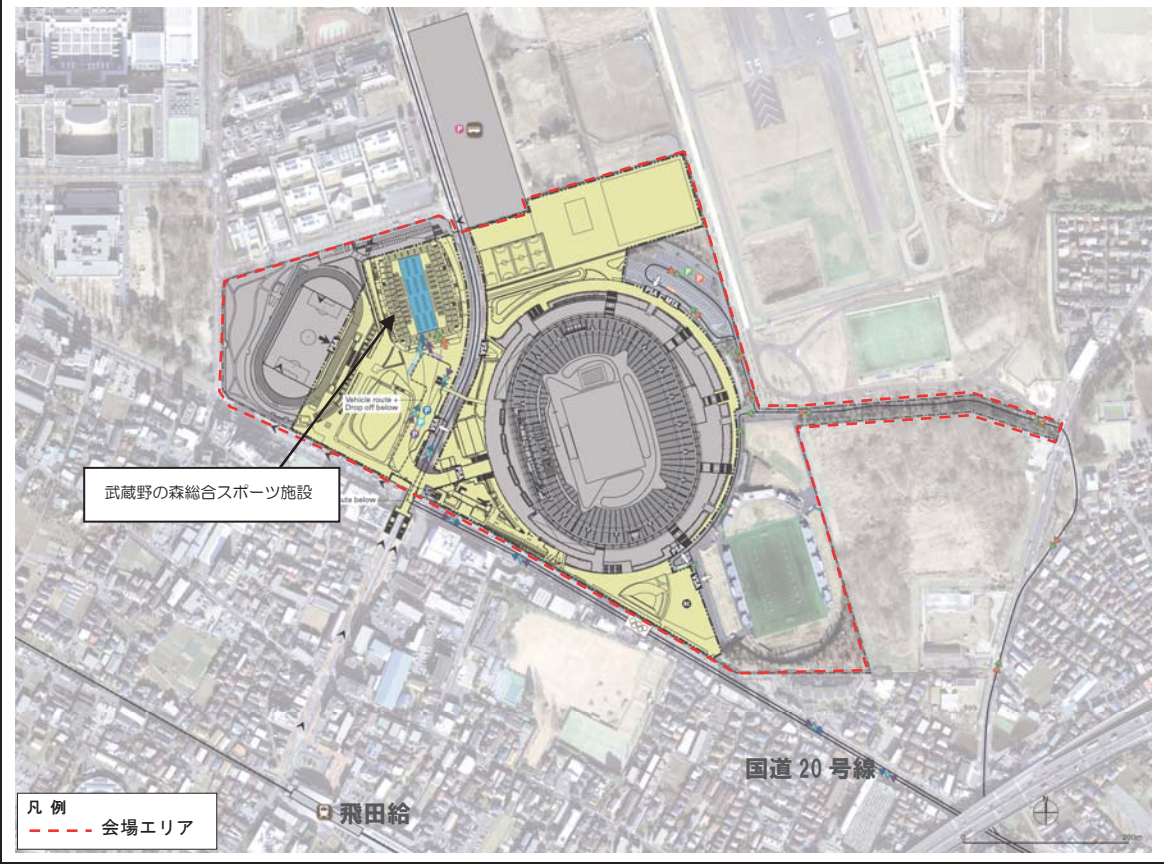
表 7.1-91 選定しなかった項目及びその理由（ウォーターポロアリーナ）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、生物・生態系に著しい影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、緑に著しい影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的に景観に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
地域分断	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、恒常的な地域分断は生じない。
移転	本会場等は一時的な仮設構造物を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(28) 武蔵野の森総合スポーツ施設

選定した項目は表 7.1-92 に、選定した理由は表 7.1-93 に、選定しなかった理由は表 7.1-94 に示すとおりである。

建設区分	新設	施工箇所	陸域
建物構造	(計画中)	階数	地上 3 階
総座席数(席)	8,000	駐車場台数(台)	210
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：－		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-28 施設の諸元（武蔵野の森総合スポーツ施設）

表 7.1-92(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（武蔵野の森総合スポーツ施設）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		○	○			○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度				○					
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度											
		・ 湧水流量の変化の程度											
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		○								
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動			○							
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度					○					
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				○						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					○					
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度					○					
			・ 景観阻害要因の変化の程度					○					
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度					○					
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○						
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度				○		○							

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-92(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（武蔵野の森総合スポーツ施設）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の使用	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	○									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				○	
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○				○				○	
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○		○				○	
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○		○				○	
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○					
			地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
			移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○					
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○					
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○								
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○			○					
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○			○					
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-93(1) 選定した項目及びその理由（武蔵野の森総合スポーツ施設）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は初期段階環境影響評価で駐車場利用及び熱源施設の供用に伴う排出量は非常に小さく、大気質濃度をほとんど悪化させることはないとして予測されているため、予測事項としない。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
水循環	水循環に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「地下水涵養能の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の建設に伴う「地下水の水位及び流動の変化の程度」は施設は地上階のみ整備する計画としているため、予測事項としない。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の計画がないため、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は屋内建屋内で実施するため、予測事項としない。
日 影	日影が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度」、「日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物」とする。
景 観	景観に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度」、「代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度」、「貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度」、「緑視率の変化の程度」、「景観阻害要因の変化の程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度」は会場事業計画地及びその周辺に景観形成特別地区は存在しないため、「圧迫感の変化の程度」は施設が地上4階建てと建築物高さが低いため、予測事項としない。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。 なお、開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」及び工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。

表 7.1-93(2) 選定した項目及びその理由（武蔵野の森総合スポーツ施設）

項 目	選定した理由
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
史跡・文化財	史跡・文化財に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度」、「文化財等の周辺の環境の変化の程度」、「埋蔵文化財包蔵地の改変の程度」、「会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度」、「文化財等の回復の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は現会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、影響は軽微と考え、予測事項としない。また、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は現時点では大規模な駐車場の設置は想定していないため予測事項としないが、今後の計画の進展により必要に応じて予測事項として選定することを検討する
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。

表 7.1-93(3) 選定した項目及びその理由（武蔵野の森総合スポーツ施設）

項 目	選定した理由
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の計画がないため、予測事項としない。

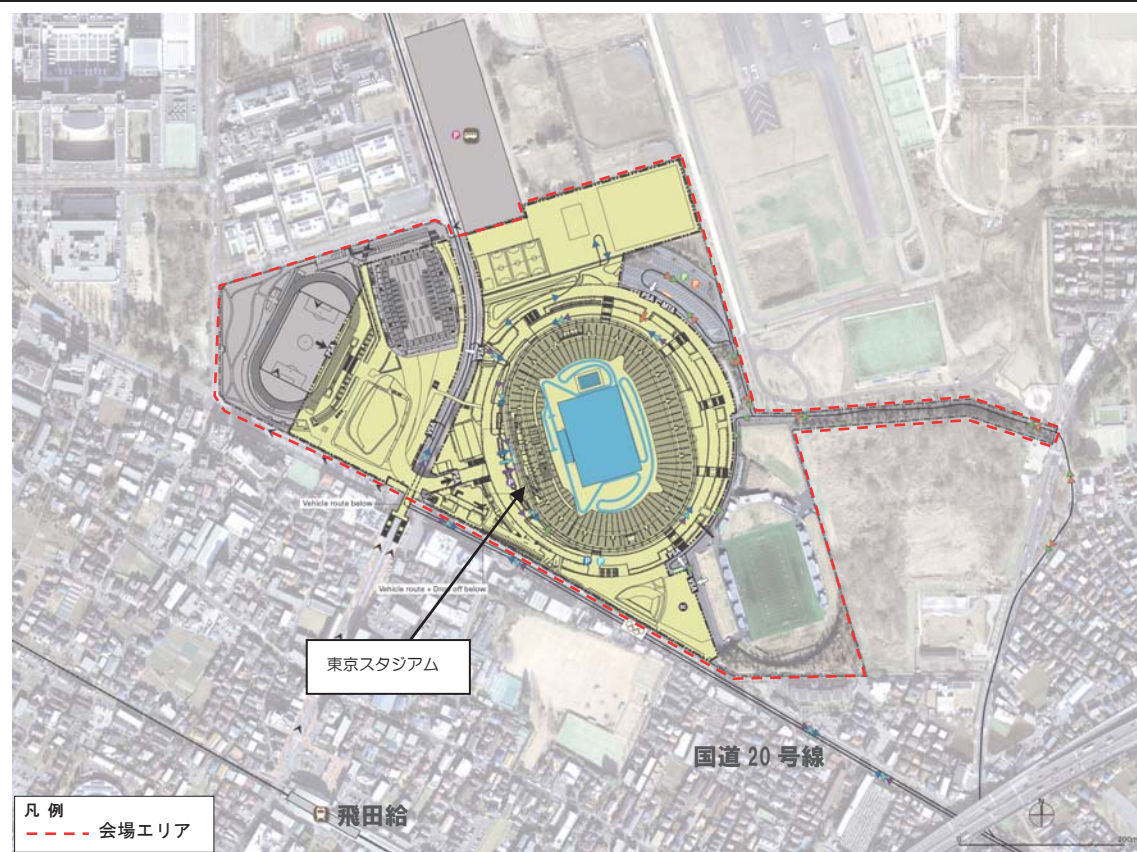
表 7.1-94 選定しなかった項目及びその理由（武蔵野の森総合スポーツ施設）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いとため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	会場事業計画地が未利用地に立地しているため、新たな地域分断は生じない。
移転	会場事業計画地が都市公園に立地しているため、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(29) 東京スタジアム

選定した項目は表 7.1-95 に、選定した理由は表 7.1-96 に、選定しなかった理由は表 7.1-97 に示すとおりである。

建設区分	既存	施工箇所	陸域
建物構造	RC 造・SRC 造・PC 造・S 造	階数	地上 5 階、地下 1 階
総座席数(席)	50,000	駐車場台数(台)	230
仮施設設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：1,600		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-29 施設の諸元（東京スタジアム）

表 7.1-95(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京スタジアム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
		・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
		・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
		・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度													
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-95(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（東京スタジアム）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度									
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○				
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度									
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度									
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度									
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度									
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度					○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度					○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-96 選定した項目及びその理由（東京スタジアム）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-97 選定しなかった項目及びその理由（東京スタジアム）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」、仮設施設の規模が延床面積 1,600m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 1,600m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(30) 武蔵野の森公園

選定した項目は表 7.1-98 に、選定した理由は表 7.1-99 に、選定しなかった理由は表 7.1-100 に示すとおりである。

建設区分	仮設	施工箇所	陸域
建物構造	S 造	階数	地上 1 階
総座席数(席)	1,000	駐車場台数(台)	520
仮設施設(m ²)	プレハブ以外：－ プレハブ：6,900		



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7.1-30 施設の諸元（武蔵野の森公園）

表 7.1-98(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（武蔵野の森公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前		開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照阻害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度										
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 圧迫感の変化の程度										
			・ 緑視率の変化の程度										
			・ 景観阻害要因の変化の程度										
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度													

注) 網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-98(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（武蔵野の森公園）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度						○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度						○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度						○				
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度						○				
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度						○				
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

表 7.1-99 選定した項目及びその理由（武蔵野の森公園）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m²であるため、予測事項としない。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m²であるため、予測事項としない。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。 なお、開催後の解体工事に伴う「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m²であるため、予測事項としない。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、開催中の大会の運営に伴う「津波対策の程度」は会場事業計画地が内陸域に立地しているため、予測事項としない。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m²であるため、予測事項としない。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。 なお、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通安全の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m²であるため、予測事項としない。

表 7.1-100 選定しなかった項目及びその理由（武蔵野の森公園）

項 目	選定しなかった理由
水質等	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	本会場等は既存施設を利用するものであり、土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	本会場等は既存施設を利用するものであり、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	本会場等は既存施設を利用するものであり、生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	本会場等は既存施設を利用するものであり、緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たに景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	開催前及び開催後の建設機械の稼働に伴う「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」、仮設施設の規模が延床面積 6,900m ² であるため、自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	本会場等は既存施設を利用するものであり、史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	本会場等は既存施設を利用するものであり、多量の資材等の利用は生じない。
土地利用	本会場等は既存施設を利用するものであり、土地利用の変化は生じない。
地域分断	本会場等は既存施設を利用するものであり、新たな地域分断は生じない。
移転	本会場等は既存施設を利用するものであり、移転は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	開催前及び開催後の工事用車両の走行に伴う「交通量及び交通流の変化の程度」は仮設施設の規模が延床面積 6,900m ² であるため、交通渋滞に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

(31) 選手村

選定した項目は表 7. 1-101 に、選定した理由は表 7. 1-102 に、選定しなかった理由は表 7. 1-103 に示すとおりである。



注) 会場エリアとは、会場事業計画地及びその周辺地域を指す。

図 7. 1-31 施設の諸元 (選手村)

表 7.1-101(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（選手村）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度		※	※			○		○	○	※
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度				○						
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度				○						
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度				○						
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度				○						
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
			・ アスリートへの生物等の影響の程度										
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動		※						○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動					○					
			・ 建設機械等の騒音及び振動			※						○	
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度					※					
			・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度				※						
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度				※						
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度				※						
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度				※						
			・ 圧迫感の変化の程度				※						
			・ 緑視率の変化の程度				※						
			・ 景観阻害要因の変化の程度				※						
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度				○						
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度			○	○					○	
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度		○		○				○		

注）網掛けは、アスリートへの影響として競技ごとに環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

※別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施。

表 7.1-101(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（選手村）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○				
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度	※								
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度					○				○
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○				○	○			○
	温室効果ガス	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度	○								
		温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度			○		○				○
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度			○		○				○
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度				○					
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度									
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度				○					
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度									
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度									
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度									
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度									
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減									
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度									
		消防・防災	・ 耐震性の程度					○				
			・ 津波対策の程度					○				
	交通		・ 防火性の程度					○				
		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度		○						○	○
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度		○			○		○		
経済	交通安全	・ 交通安全の変化の程度		○			○		○			
	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度										
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別会場等では対象外とする項目を示す。

※別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施。

表 7.1-102(1) 選定した項目及びその理由（選手村）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。 なお、開催前の工事用車両の走行及び建設機械の稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」、開催後の設備等の持続的稼働に伴う「大気等の状況の変化の程度」は、別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。
生物の生育・生息基盤	生物の生育・生息基盤に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の存在が考えられる。 予測事項は、「陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度」、「陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度」、「生育・生息環境の変化の内容及びその程度」、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。 なお、開催前の施設の存在に伴う「重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度」は会場事業計画地及びその周辺に重要な生物・生態系の保護・保全地域が存在しないため、予測事項としない。
緑	緑に影響を及ぼす要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼす要因としては、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「建設機械等の騒音及び振動」とする。 なお、開催中の競技の実施に伴う「競技実施に伴う騒音及び振動」は競技は実施しないため、予測事項としない。また、開催前の工事用車両の走行に伴う「工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動」及び建設機械の稼働に伴う「建設機械等の騒音及び振動」は、別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、建設機械の稼働、施設の存在、開催後における工事用車両の走行、建設機械の稼働が考えられる。 予測事項は、「自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度」、「自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度」、「自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	歩行者空間の快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「歩行者が感じる快適性の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物を排出するおそれのある要因としては、開催前における施設の建設、開催中における大会の運営、開催後における解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
エコマテリアル	エコマテリアルを利用する要因としては、開催前における施設の建設が考えられる。 予測事項は、「エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催前における建設機械の稼働、開催中における大会の運営、開催後における設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。

表 7.1-102(2) 選定した項目及びその理由（選手村）

項 目	選定した理由
土地利用	土地利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は、「未利用地の解消の有無及びその程度」とする。 なお、開催前の施設が存在に伴う「自然地の改変・転用の有無及びその程度」は会場事業計画地が未利用地であり自然地に立地しないため、予測事項としない。
移転	移転が生じるおそれのある要因としては、開催前における施設が存在が考えられる。 予測事項は、「施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項としては、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通へのアクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前における工事用車両の走行、開催中における大会の運営、開催後における工事用車両の走行が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。

表 7.1-103 選定しなかった項目及びその理由（選手村）

項 目	選定しなかった理由
水質等	開催前の施設の建設において、建設工事に伴う排水及び雨水は、沈砂槽等により適切に処理し、「下水道法」（昭和 33 年法律第 79 号）に定める下水排除基準以下にした上で公共下水道へ放流する。 開催前の施設の存在に伴う生活排水及び雨水は、「東京都下水道条例」（昭和 34 年都条第 89 号）に基づき、適正に公共下水道へ放流する。 以上のことから、公共用水域及び地下水の水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	開催前の施設の建設に伴う「土壌汚染物質の変化の程度」は、履歴調査の結果、土壌汚染の可能性は低いため、土壌に著しい影響を及ぼすおそれはない。
水循環	開催前の施設の存在に伴う「地下水涵養能の変化の程度」及び施設の建設に伴う「地下水の水位及び流動の変化の程度」は会場事業計画地が埋立地のため、水循環に影響を及ぼすおそれはない。
日影	別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。
景観	別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。
史跡・文化財	別途、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。
地域分断	会場事業計画地が未利用地に立地しているため、新たな地域分断は生じない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の会場等毎に予測せず全体計画で評価する。

7.2 競技ごと

環境影響評価の項目は、図 7.2-1 に示す手順に従い、対象とする屋外競技計画の内容をもとに環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況及び社会経済情勢等を勘案して選定した。

なお、環境影響評価の項目等については、環境影響評価書案作成時の適切な時期に、その時点の競技計画内容等に基づき、再検討を行う。

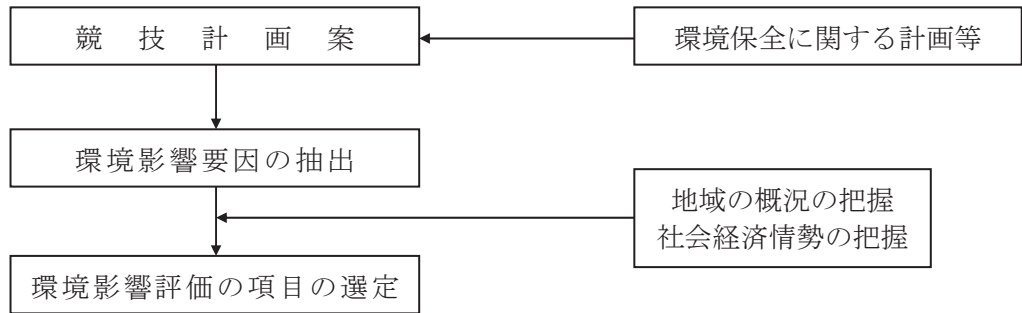


図 7.2-1 環境影響評価の項目の選定手順

また、各屋外競技の開催場所により環境影響評価の項目が異なると考えられることから、表 7.2-1 に示すとおり開催場所により屋外競技の分類を行い、開催場所の特性を踏まえて環境影響評価項目を選定した。

表 7.2-1 開催場所による屋外競技の分類

No.	競技名称		開催場所
	オリンピック	パラリンピック	
1	陸上競技（マラソン）	陸上競技（マラソン）	陸域（敷地外）
2	陸上競技（競歩）	—	陸域（敷地外）
3	自動車競技（ロード・レース）	自動車競技（ロード・レース）	陸域（敷地外）
4	トライアスロン	パラトライアスロン	陸域（敷地外）・海域
5	水泳（マラソン 10km）	—	海域
6	カヌー（スプリント）	パラカヌー	海域
7	カヌー（スラローム）	—	海域
8	ボート	ボート	海域
9	セーリング	セーリング	海域

(1) 陸上競技（マラソン）

選定した項目は表 7.2-2 に、選定した理由は表 7.2-3 に、選定しなかった理由は表 7.2-4 に示すとおりである。

表 7.2-2(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（陸上競技（マラソン））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度					○				
			・ アスリートへの影響の程度				○					
		水質等	・ 水質の変化の程度									
			・ アスリートへの影響の程度									
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度									
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無									
	・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度									
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度								
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
		・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度									
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度									
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度									
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度									
			・ 生態系の変化の内容及びその程度									
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度									
	・ アスリートへの生物等の影響の程度											
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動						○			
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動									
			・ 建設機械等の騒音及び振動									
			・ 会場設備等からの騒音及び振動									
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○				
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度									
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度									
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度									
・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
・ 圧迫感の変化の程度												
・ 緑視率の変化の程度												
・ 景観阻害要因の変化の程度												
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度										
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度										
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度										

表 7.2-2(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（陸上競技（マラソン））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の使用	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○					
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○					
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-3 選定した項目及びその理由（陸上競技（マラソン））

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。また、大気等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
歩行者空間の快適性	アスリートの快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「アスリートが感じる快適性の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、「津波対策の程度」は開催場所が内陸域のため、予測事項としない。

表 7.2-4 選定しなかった項目及びその理由（陸上競技（マラソン））

項 目	選定しなかった理由
水質等	競技の実施が水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	競技の実施が生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセスビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセスビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(2) 陸上競技（競歩）

選定した項目は表 7.2-5 に、選定した理由は表 7.2-6 に、選定しなかった理由は表 7.2-7 に示すとおりである。

表 7.2-5(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（陸上競技（競歩））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度						○				
			・ アスリートへの影響の程度					○					
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度										
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動							○			
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動										
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
			・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度											
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度											
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度											
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 圧迫感の変化の程度											
		・ 緑視率の変化の程度											
		・ 景観阻害要因の変化の程度											
	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度											

表 7.2-5(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（陸上競技（競歩））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度							○			
交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度											
	公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度											
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度											
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-6 選定した項目及びその理由（陸上競技（競歩））

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。また、大気等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
歩行者空間の快適性	アスリートの快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「アスリートが感じる快適性の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、「津波対策の程度」は開催場所が内陸域のため、予測事項としない。

表 7.2-7 選定しなかった項目及びその理由（陸上競技（競歩））

項 目	選定しなかった理由
水質等	競技の実施が水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・ 生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	競技の実施が生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ 合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリア ル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通への アクセスビリ ティ	競技の実施が公共交通へのアクセスビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(3) 自転車競技（ロード・レース）

選定した項目は表 7.2-8 に、選定した理由は表 7.2-9 に、選定しなかった理由は表 7.2-10 に示すとおりである。

表 7.2-8(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（自転車競技（ロード・レース））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度					○						
			・ アスリートへの影響の程度					○						
		水質等	・ 水質の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度											
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度											
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無											
	・ 汚染土壌の量													
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度											
			水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
		・ 地下水の水位及び流動の変化の程度												
		・ 湧水流量の変化の程度												
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度											
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度											
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度											
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度											
			・ 生態系の変化の内容及びその程度											
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度											
			・ アスリートへの生物等の影響の程度											
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度												
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動							○				
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動											
			・ 建設機械等の騒音及び振動											
			・ 会場設備等からの騒音及び振動											
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○					
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度													
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物													
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度											
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度											
・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度														
・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度														
・ 圧迫感の変化の程度														
・ 緑視率の変化の程度														
・ 景観阻害要因の変化の程度														
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度												

表 7.2-8(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（自転車競技（ロード・レース））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等					○					
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					○					
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度					○					
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度					○					
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度					○					
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-9 選定した項目及びその理由（自転車競技（ロード・レース））

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。また、大気等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
歩行者空間の快適性	アスリートの快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「アスリートが感じる快適性の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、「津波対策の程度」は開催場所が内陸域のため、予測事項としない。

表 7.2-10 選定しなかった項目及びその理由（自転車競技（ロード・レース））

項 目	選定しなかった理由
水質等	競技の実施が水質等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・ 生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
生物・生態系	競技の実施が生物・生態系に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ 合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリア ル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通への アクセスビリ ティ	競技の実施が公共交通へのアクセスビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(4) トライアスロン・パラトライアスロン

選定した項目は表 7.2-11 に、選定した理由は表 7.2-12 に、選定しなかった理由は表 7.2-13 に示すとおりである。

表 7.2-11(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（トライアスロン・パラトライアスロン）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度					○				
			・ アスリートへの影響の程度				○					
		水質等	・ 水質の変化の程度									
			・ アスリートへの影響の程度					○				
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量									
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度									
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度									
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度									
			・ 湧水流量の変化の程度									
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度									
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度									
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度									
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度									
			・ 生態系の変化の内容及びその程度									
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度									
	・ アスリートへの生物等の影響の程度						○					
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動							○		
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動									
			・ 建設機械等の騒音及び振動									
			・ 会場設備等からの騒音及び振動									
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動					○				
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物									
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度									
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度									
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度									
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度									
			・ 圧迫感の変化の程度									
			・ 緑視率の変化の程度									
			・ 景観阻害要因の変化の程度									
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度									
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度									
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度									

表 7.2-11(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（トライアスロン・パラトライアスロン）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設が存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度					○					
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及その程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及その程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-12 選定した項目及びその理由（トライアスロン・パラトライアスロン）

項 目	選定した理由
大気等	大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。また、大気等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」、「アスリートへの影響の程度」とする。
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」、「競技実施に伴う騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
歩行者空間の快適性	アスリートの快適性に及ぼすおそれのある要因としては、都市特有の課題であるヒートアイランド現象が考えられる。 予測事項は、「緑の程度」、「アスリートが感じる快適性の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-13 選定しなかった項目及びその理由（トライアスロン・パラトライアスロン）

項 目	選定しなかった理由
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・ 生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ 合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリア ル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通への アクセシビリ ティ	競技の実施が公共交通へのアクセシビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(5) 水泳（マラソン 10km）

選定した項目は表 7.2-14 に、選定した理由は表 7.2-15 に、選定しなかった理由は表 7.2-16 に示すとおりである。

表 7.2-14(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（水泳（マラソン 10km））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度											
		水質等	・ 水質の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度					○						
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度											
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無											
	・ 汚染土壌の量													
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度											
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度											
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度											
			・ 湧水流量の変化の程度											
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度											
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度											
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度											
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度											
			・ 生態系の変化の内容及びその程度											
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度													
	・ アスリートへの生物等の影響の程度						○							
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度												
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動											
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動							○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動											
			・ 会場設備等からの騒音及び振動											
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動											
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度													
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物													
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
		・ 圧迫感の変化の程度												
		・ 緑視率の変化の程度												
		・ 景観阻害要因の変化の程度												
	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度												

表 7.2-14(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（水泳（マラソン 10km））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度										
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度											
	公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度											
	交通安全	・ 交通安全の変化の程度											
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及並びにその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-15 選定した項目及びその理由（水泳（マラソン 10km））

項 目	選定した理由
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-16 選定しなかった項目及びその理由（水泳（マラソン 10km））

項 目	選定しなかった理由
大気等	競技の実施が大気等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
歩行者空間の快適性	都市特有の課題であるヒートアイランド現象が、アスリートの快適性に及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセスビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセスビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(6) カヌー（スプリント）・パラカヌー

選定した項目は表 7.2-17 に、選定した理由は表 7.2-18 に、選定しなかった理由は表 7.2-19 に示すとおりである。

表 7.2-17(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（カヌー（スプリント）・パラカヌー）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後					
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働	
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度											
		水質等	・ 水質の変化の程度											
			・ アスリートへの影響の程度					○						
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度											
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無											
	・ 汚染土壌の量													
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度											
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度											
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度											
			・ 湧水流量の変化の程度											
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度											
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度											
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度											
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度											
			・ 生態系の変化の内容及びその程度											
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度											
	・ アスリートへの生物等の影響の程度					○								
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度												
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動											
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○					
			・ 建設機械等の騒音及び振動											
			・ 会場設備等からの騒音及び振動											
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動											
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度													
・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物														
アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度												
		・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度												
		・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度												
		・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度												
		・ 圧迫感の変化の程度												
		・ 緑視率の変化の程度												
		・ 景観阻害要因の変化の程度												
	自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度												
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度												

表 7.2-17(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（カヌー（スプリント・パラカヌー））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度										
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-18 選定した項目及びその理由（カヌー（スプリント）・パラカヌー）

項 目	選定した理由
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-19 選定しなかった項目及びその理由（カヌー（スプリント）・パラカヌー）

項 目	選定しなかった理由
大気等	競技の実施が大気等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
歩行者空間の快適性	都市特有の課題であるヒートアイランド現象が、アスリートの快適性に及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセシビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセシビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(7) カヌー（スラローム）

選定した項目は表 7.2-20 に、選定した理由は表 7.2-21 に、選定しなかった理由は表 7.2-22 に示すとおりである。

表 7.2-20(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（カヌー（スラローム））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度										
		水質等	・ 水質の変化の程度										
			・ アスリートへの影響の程度					○					
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
			・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度										
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度										
			・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度										
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度											
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動										
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動						○				
			・ 建設機械等の騒音及び振動										
			・ 会場設備等からの騒音及び振動										
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度										
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度												
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物												
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度										
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度										
・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度													
・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度													
・ 圧迫感の変化の程度													
・ 緑視率の変化の程度													
・ 景観阻害要因の変化の程度													
自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度											
		・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度											

表 7.2-20(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（カヌー（スラローム））

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度										
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びその程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-21 選定した項目及びその理由（カヌー（スラローム））

項 目	選定した理由
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-22 選定しなかった項目及びその理由（カヌー（スラローム））

項 目	選定しなかった理由
大気等	競技の実施が大気等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
歩行者空間の快適性	都市特有の課題であるヒートアイランド現象が、アスリートの快適性に及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセスビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセスビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(8) ポート

選定した項目は表 7.2-23 に、選定した理由は表 7.2-24 に、選定しなかった理由は表 7.2-25 に示すとおりである。

表 7.2-23 (1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連 (ボート)

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後						
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働		
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度												
		水質等	・ 水質の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度					○							
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量												
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度												
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度 ・ 地下水の水位及び流動の変化の程度 ・ 湧水流量の変化の程度												
			生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 ・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 ・ 水生生物相の変化の内容及びその程度 ・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・ 生態系の変化の内容及びその程度 ・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度 ・ アスリートへの生物等の影響の程度						○					
				緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
		生活環境		騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動 ・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動 ・ 建設機械等の騒音及び振動 ・ 会場設備等からの騒音及び振動 ・ 競技実施に伴う騒音及び振動						○				
				日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
				アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度 ・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度 ・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 ・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度 ・ 圧迫感の変化の程度 ・ 緑視率の変化の程度 ・ 景観阻害要因の変化の程度									
					自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 ・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 ・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度									

表 7.2-23 (2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連 (ボート)

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の使用	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度										
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
	エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及その程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及その程度											
	雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等											
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度											

注) 網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-24 選定した項目及びその理由（ボート）

項 目	選定した理由
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-25 選定しなかった項目及びその理由（ポート）

項 目	選定しなかった理由
大気等	競技の実施が大気等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
歩行者空間の快適性	都市特有の課題であるヒートアイランド現象が、アスリートの快適性に及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセシビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセシビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

(9) セーリング

選定した項目は表 7.2-26 に、選定した理由は表 7.2-27 に、選定しなかった理由は表 7.2-28 に示すとおりである。

表 7.2-26(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（セーリング）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度									
			・ アスリートへの影響の程度									
		水質等	・ 水質の変化の程度									
			・ アスリートへの影響の程度					○				
	土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度										
		・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無										
	・ 汚染土壌の量											
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度									
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度									
			・ 地下水の水位及び流動の変化の程度									
			・ 湧水流量の変化の程度									
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度									
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度									
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度									
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度									
			・ 生態系の変化の内容及びその程度									
			・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度									
	・ アスリートへの生物等の影響の程度						○					
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度										
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動						○			
			・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動									
			・ 建設機械等の騒音及び振動									
			・ 会場設備等からの騒音及び振動									
			・ 競技実施に伴う騒音及び振動									
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度									
	・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度											
	・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物											
	アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度									
			・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度									
			・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度									
			・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度									
			・ 圧迫感の変化の程度									
			・ 緑視率の変化の程度									
			・ 景観阻害要因の変化の程度									
		自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度									
			・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度									
			・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度									

表 7.2-26(2) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（セーリング）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前			開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度										
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度										
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度										
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等						○				
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度										
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度						○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度						○				
社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
		地域分断	・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度										
		移転	・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度										
	社会活動	スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容とその程度										
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度										
	参加・協働	ボランティア	・ ボランティア活動の内容とその程度										
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容とその程度										
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容とその程度 ・ 意識啓発のための機会の増減										
	安全・衛生・安心	安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度						○				
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度										
		消防・防災	・ 耐震性の程度										
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度						○ ○				
	交通	交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度										
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度										
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度										
	経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度										
		雇用	・ 創出又は消失と思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等										
		事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度										

注）網掛けは、2020 年東京大会の全体計画として環境影響評価を行い、個別競技では対象外とする項目を示す。

表 7.2-27 選定した項目及びその理由（セーリング）

項 目	選定した理由
水質等	水質等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの影響の程度」とする。
騒音・振動	騒音・振動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における競技の実施、大会の運営が考えられる。 予測事項は、「関係者等の移動による道路交通騒音及び振動」とする。
生物・生態系	生物等がアスリートに影響を及ぼすおそれがある。 予測事項は、「アスリートへの生物等の影響の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれがある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。 なお、「耐震性の程度」は屋外競技であるため、予測事項としない。

表 7.2-28 選定しなかった項目及びその理由（セーリング）

項 目	選定しなかった理由
大気等	競技の実施が大気等に影響を及ぼすおそれはない。
土壌	競技の実施が土壌に影響を及ぼすおそれはない。
生物の生育・生息基盤	競技の実施が生物の生育・生息基盤に影響を及ぼすおそれはない。
水循環	競技の実施が水循環に影響を及ぼすおそれはない。
緑	競技の実施が緑に影響を及ぼすおそれはない。
日影	競技の実施が日影に影響を及ぼすおそれはない。
景観	競技の実施が景観に影響を及ぼすおそれはない。
自然との触れ合い活動の場	競技の実施が自然との触れ合い活動の場に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
歩行者空間の快適性	都市特有の課題であるヒートアイランド現象が、アスリートの快適性に及ぼすおそれはない。
史跡・文化財	競技の実施が史跡・文化財に影響を及ぼすおそれはない。
水利用	競技の実施が水利用に影響を及ぼすおそれはない。
エコマテリアル	競技の実施がエコマテリアルに影響を及ぼすおそれはない。
土地利用	競技の実施が土地利用に影響を及ぼすおそれはない。
地域分断	競技の実施が地域分断に恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
移転	競技の実施が移転に影響を及ぼすおそれはない。
スポーツ活動	2020 年東京大会の実施がスポーツ活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
文化活動	2020 年東京大会の実施が文化活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
ボランティア	2020 年東京大会の実施がボランティア活動に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
コミュニティ	2020 年東京大会の実施が地域のコミュニティに及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
環境への意識	2020 年東京大会の実施が環境への意識に及ぼす影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
衛生	2020 年東京大会の実施における飲料水や食品等についての安全性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
交通渋滞	2020 年東京大会の実施における交通渋滞については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
公共交通へのアクセシビリティ	競技の実施が公共交通へのアクセシビリティに恒常的に影響を及ぼす恐れはない。
交通安全	競技の実施が交通安全に影響を及ぼすおそれはない。
経済波及	2020 年東京大会の実施による経済波及効果については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
雇用	2020 年東京大会の実施による雇用への影響については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。
事業採算性	2020 年東京大会の実施による事業採算性については、個別の競技毎に予測せず全体計画で評価する。

7.3 全体計画

環境影響評価の項目は、図 7.3-1 に示す手順に従い、全体計画の内容をもとに環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況及び社会経済情勢等を勘案して選定した。

なお、環境影響評価の項目等については、環境影響評価書案作成時の適切な時期に、その時点の全体計画内容等に基づき、再検討を行う。

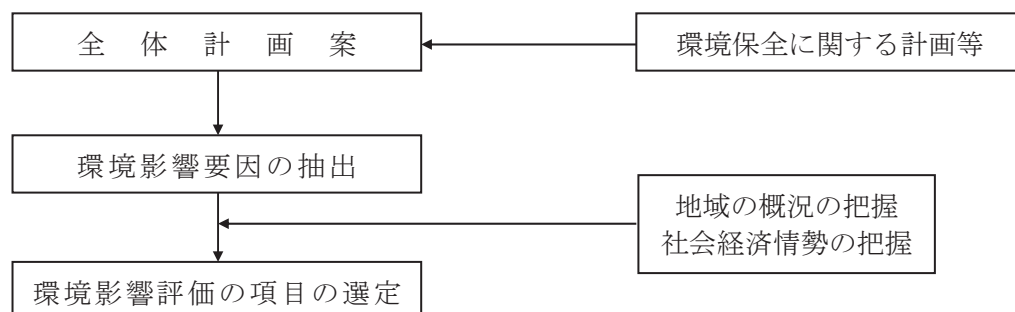


図 7.3-1 環境影響評価の項目の選定手順

選定した項目は表 7.3-1 に、選定した理由は表 7.3-2 に、選定しなかった理由は表 7.3-3 に示すとおりである。

表 7.3-1(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（全体計画）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前				開催中		開催後			
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在 招致・PR活動	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	主要環境	大気等	・ 大気等の状況の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度						○				
		水質等	・ 水質の変化の程度 ・ アスリートへの影響の程度										
		土壌	・ 土壌汚染物質の変化の程度 ・ 地下水及び大気への影響の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量										
	生態系	生物の生育・生息基盤	・ 生物の生育・生息基盤の地形、地質等の変化の程度										
		水循環	・ 地下水涵養能の変化の程度 ・ 地下水の水位及び流動の変化の程度 ・ 湧水流量の変化の程度										
		生物・生態系	・ 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度										
			・ 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度										
			・ 水生生物相の変化の内容及びその程度										
			・ 生育・生息環境の変化の内容及びその程度										
			・ 生態系の変化の内容及びその程度				○						
	・ 重要な生物・生態系の保護・保全地域等に与える影響の程度												
	・ アスリートへの生物等の影響の程度												
	緑	・ 植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度				○							
	生活環境	騒音・振動	・ 工事用車両の走行による道路交通騒音及び振動 ・ 関係者等の移動による道路交通騒音及び振動 ・ 建設機械等の騒音及び振動 ・ 会場設備等からの騒音及び振動 ・ 競技実施に伴う騒音及び振動										
		日影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 日照障害が生じる又は改善する住宅戸数及び既存植物										
		アメニティ・文化	景観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度 ・ 景観形成特別地区の景観阻害又は貢献の程度 ・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 ・ 貴重な景勝地の消滅の有無又は改変の程度 ・ 圧迫感の変化の程度 ・ 緑視率の変化の程度 ・ 景観阻害要因の変化の程度									
	自然との触れ合い活動の場		・ 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 ・ 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度 ・ 自然との触れ合い活動の場までの利用経路に与える影響の程度										

表 7.3-2(1) 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連（全体計画）

環境影響評価の項目			区 分 環境影響要因 予測事項	開催前				開催中		開催後				
				施設の建設	工事用車両の走行	建設機械の稼働	施設の存在	招致・PR活動	競技の実施	大会の運営	解体工事	工事用車両の走行	建設機械の稼働	設備等の持続的稼働
環境項目	アメニティ・文化	歩行者空間の快適性	・ 緑の程度 ・ 歩行者及びアスリートが感じる快適性の程度											
		史跡・文化財	・ 会場事業地内の文化財等の現状変更の程度及びその周辺地域の文化財等の損傷等の程度 ・ 文化財等の周辺の環境の変化の程度 ・ 埋蔵文化財包蔵地の改変の程度 ・ 会場事業計画地周辺の文化財等の保護・保全対策の程度 ・ 文化財等の回復の程度											
	資源・廃棄物	水利用	・ 水の効率的利用への取組・貢献の程度							○				
		廃棄物	・ 廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等	○						○				
		エコマテリアル	・ エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度											
	温室効果ガス	温室効果ガス	・ 温室効果ガスの排出量及びその削減の程度							○				
		エネルギー	・ エネルギーの使用量及びその削減の程度							○				
	社会経済項目	土地利用	土地利用	・ 自然地の改変・転用の有無及びその程度 ・ 未利用地の解消の有無及びその程度										
地域分断			・ 生活動線の分断又は進展の有無及びその規模、範囲、時間及び程度											
移転			・ 施設整備等による住宅、店舗等の移転の規模、範囲及び程度											
社会活動		スポーツ活動	・ 国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及その程度						○					
		文化活動	・ 文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度						○					
参加・協働		ボランティア	・ ボランティア活動の内容及その程度						○		○			
		コミュニティ	・ 地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及その程度						○		○			
		環境への意識	・ 都民等の環境への関心及び意識の内容及その程度 ・ 意識啓発のための機会の増減						○		○			
安全・衛生・安心		安全	・ 危険物施設等からの安全性の確保の程度 ・ 移動の安全のためのバリアフリー化の程度 ・ 電力供給の安定度								○			
		衛生	・ 飲料水、食品等についての安全性の確保の程度								○			
		消防・防災	・ 耐震性の程度								○			
			・ 津波対策の程度 ・ 防火性の程度								○ ○			
交通		交通渋滞	・ 交通量及び交通流の変化の程度								○			
		公共交通へのアクセシビリティ	・ 会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度								○			
		交通安全	・ 交通安全の変化の程度								○			
経済	経済波及	・ 経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容及びにその程度	○					○		○	○			○
	雇用	・ 創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等	○					○		○	○			○
	事業採算性	・ 会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度	○							○				

表 7.3-2(1) 選定した項目及びその理由（全体計画）

項 目	選定した理由
大気等	広域的な大気等に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中における大会の運営が考えられる。 予測事項は、「大気等の状況の変化の程度」とする。
生物・生態系	生物・生態系に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生態系の変化の内容及びその程度」とする。
緑	緑に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の施設の存在が考えられる。 予測事項は、「生植栽内容の変化の程度及び緑の量の変化の程度」とする。
水利用	水利用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「水の効率的利用への取組・貢献の程度」とする。
廃棄物	多量の廃棄物が発生するおそれのある要因としては、開催前の施設の建設、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「廃棄物の排出量及び再利用量並びに処理・処分方法等」とする。
温室効果ガス	温室効果ガスを排出するおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「温室効果ガスの排出量及びその削減の程度」とする。
エネルギー	多量のエネルギーを使用するおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「エネルギーの使用量及びその削減の程度」とする。
スポーツ活動	スポーツ活動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の招致・PR 活動が考えられる。 予測事項は、「国際レベルのスポーツ施設の充足、地域スポーツ団体やスポーツ参加者の増減など、スポーツ活動への影響の内容及びその程度」とする。
文化活動	文化活動に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の招致・PR 活動が考えられる。 予測事項は、「文化活動拠点の増減、国際交流の活発化、情報提供のバリアフリー化の進展など、文化活動への影響の内容及びその程度」とする。
ボランティア	ボランティアに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の招致・PR 活動、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「ボランティア活動の内容及びその程度」とする。
コミュニティ	コミュニティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の招致・PR 活動、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「地域のコミュニティの形成及び活動並びに企業の地域コミュニティへの貢献度等の内容及びその程度」とする。
環境への意識	環境への意識に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の招致・PR 活動、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「都民等の環境への関心及び意識の内容及びその程度」、「意識啓発のための機会の増減」とする。
安全	安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「危険物施設等からの安全性の確保の程度」、「移動の安全のためのバリアフリー化の程度」、「電力供給の安定度」とする。
衛生	衛生に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「飲料水、食品等についての安全性の確保の程度」とする。

表 7.3-2(2) 選定した項目及びその理由（全体計画）

項 目	選定した理由
消防・防災	消防・防災に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の開催が考えられる。 予測事項は、「耐震性の程度」、「津波対策の程度」、「防火性の程度」とする。
交通渋滞	交通渋滞に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通量及び交通流の変化の程度」とする。
公共交通への アクセシビリティ	公共交通へのアクセシビリティに影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度」とする。
交通安全	交通安全に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「交通安全の変化の程度」とする。
経済波及	経済波及に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の施設の建設、招致・PR 活動、開催中の大会の運営、開催後の解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「経済効果、新規ビジネスの創出及び既存ビジネスへの影響の内容並びにその程度」とする。
雇用	雇用に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の施設の建設、招致・PR 活動、開催中の大会の運営、開催後の解体工事、設備等の持続的稼働が考えられる。 予測事項は、「創出又は消失すると思われる雇用の種類、雇用期間、雇用者数、雇用者構成等」とする。
事業採算性	事業採算性に影響を及ぼすおそれのある要因としては、開催前の施設の建設、開催中の大会の運営が考えられる。 予測事項は、「会場ごとの施設整備費、運営経費及びそれらの削減の程度」とする。

表 7.3-3 選定しなかった項目及びその理由（全体計画）

項 目	選定しなかった理由
水質等	水質等への影響については、個別の会場等毎に評価する。
土壌	土壌への影響については、個別の会場等毎に評価する。
生物の生育・ 生息基盤	生物の生育・生息基盤への影響については、個別の会場等毎に評価する。
水循環	水循環への影響については、個別の会場等毎に評価する。
騒音・振動	騒音・振動への影響については、個別の会場等毎に評価する。
日影	日影への影響については、個別の会場等毎に評価する。
景観	景観への影響については、個別の会場等毎に評価する。
自然との触れ 合い活動の場	自然との触れ合い活動の場への影響については、個別の会場等毎に評価する。
歩行者空間の 快適性	歩行者空間の快適性への影響については、個別の会場等毎に評価する。
史跡・文化財	史跡・文化財への影響については、個別の会場等毎に評価する。
土地利用	土地利用への影響については、個別の会場等毎に評価する。
地域分断	地域分断への影響については、個別の会場等毎に評価する。
移転	移転への影響については、個別の会場等毎に評価する。